

EP-706A

操作ガイド

NPD4917-00

もくじ

マニュアルの見方

マニュアルの見方	4
記号の意味	4
表記	4
ご注意	4

各部の名称と働き

本体	6
操作パネル	8
画面の見方と使い方	9
メニュー一覧	9
コピーモード	10
写真の印刷モード	11
スキャンモード	13
Epson iPrint 接続	14
フォーム印刷モード	14
セットアップモード	14
静音モード	15
無線 LAN 設定モード	16

セットの仕方

印刷用紙のセット	17
印刷できる用紙と設定	17
使用できない用紙	19
取り扱い上のご注意	20
用紙トレイ	21
ディスクのセット	24
原稿のセット	25
メモリーカードのセット	29
メモリーカードのセット	29
メモリーカードの取り出し	30

プリンターだけで使う

コピーをする	32
基本コピー	32
写真コピー	33
ディスクレーベルコピー	33
スキャンをする	35
スキャンする	35
パソコンに保存する	36
メモリーカードの写真を印刷する	37

写真を見ながら選んで印刷.....	37
いろいろな機能で印刷.....	38
DPOF印刷.....	45
フォームを印刷する.....	46
PictBridge（無線 LAN）対応のデジタルカメラから印刷.....	46

困ったときは

詰まった用紙の取り除き方.....	49
プリンター内部.....	49
プリンター背面部.....	50
用紙トレイ部.....	51
画面にコードが表示された.....	51
さまざまなトラブル.....	53
印刷品質.....	53
電源・操作パネル.....	55
給紙・排紙.....	56
その他.....	56

メンテナンス

インクカートリッジの交換.....	57
取り扱い上のご注意.....	60
ノズルチェックとヘッドクリーニング.....	62
内部のクリーニング.....	64
輸送の仕方.....	64

製品仕様とご注意

製品仕様とご注意.....	66
総合仕様.....	66
スキャナー部.....	67
カードスロット対応電圧.....	67
対応画像ファイル.....	67
インクカートリッジ型番.....	68
無線 LAN 仕様.....	68
文字入力.....	69
印刷領域（単位 mm）.....	69
規格と規制.....	70
注意事項.....	72

サービス / サポートのご案内

サービス / サポートのご案内.....	76
お問い合わせの前に.....	76
お問い合わせ先.....	79

マニュアルの見方

マニュアルの見方

記号の意味

マーク	内容
 重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足情報や参考情報を記載しています。
	参照（ガイド内） 関連したページへジャンプします。
	参照（ページ内） ページ内の項目へジャンプします。
[]	ボタン名を示します。

表記

- Microsoft(R) Windows(R) XP operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Vista(R) operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 7 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 8 operating system 日本語版

本書中では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows 8」と表記しています。

また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本書中では、OS X Lion を「Mac OS X v10.7.x」、OS X Mountain Lion を「Mac OS X v10.8.x」と表記しています。

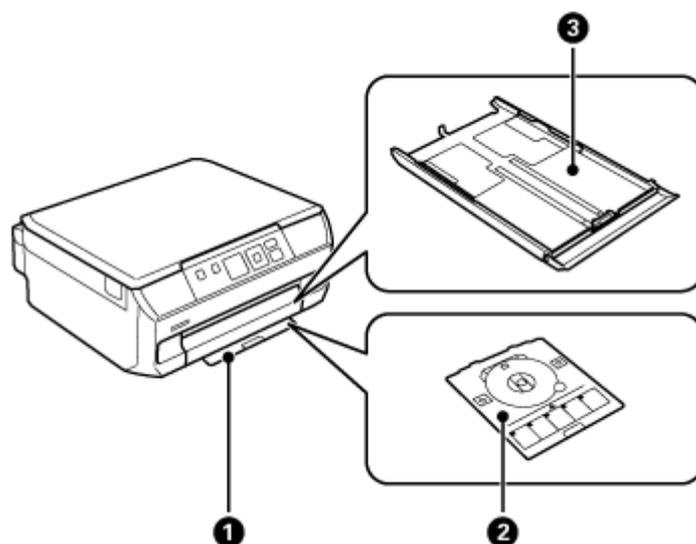
ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。

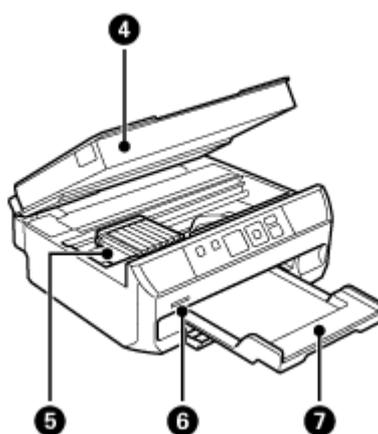
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任を負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と働き

本体

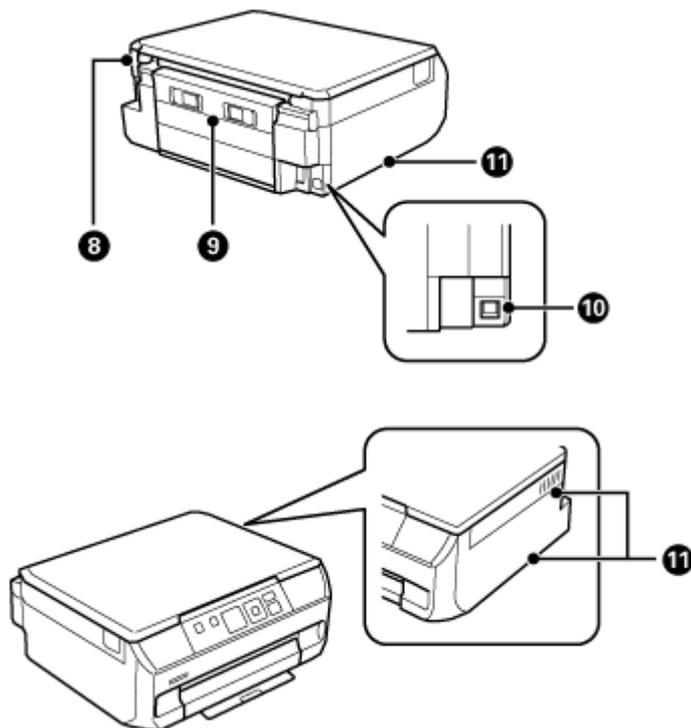


①	使い終わったディスクトレイはここに収納してください。
②	ディスクトレイ 印刷用ディスクをセットします。印刷が終了すると自動排出されます。
③	用紙トレイ 印刷用紙をセットします。

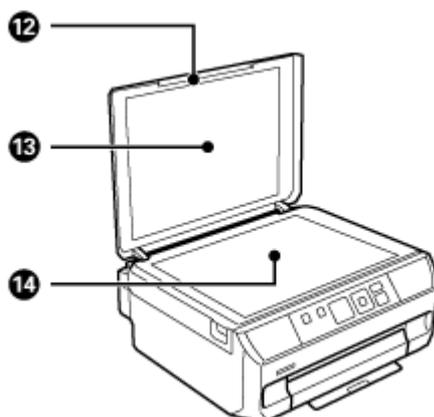


④	スキャナーユニット 画像をスキャンします。
⑤	プリントヘッド（ノズル） インクを吐出します。

<p>⑥</p>	<p>メモリーカードスロット メモリーカードをセットします。 ➔ 「メモリーカードのセット」 29 ページ</p>
<p>⑦</p>	<p>排紙トレイ 印刷された用紙を保持します。手で引き出し、収納するときは手で押して戻してください。</p>

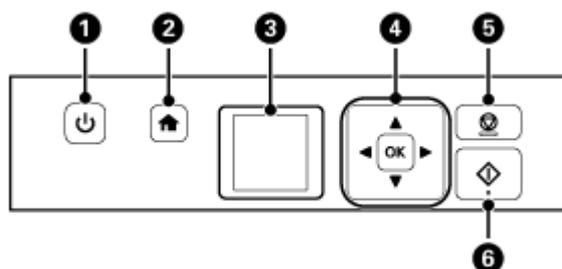


<p>⑧</p>	<p>電源コネクター 電源コードを接続します。</p>
<p>⑨</p>	<p>背面ユニット 背面に詰まった用紙を取り除くときに取り外します。</p>
<p>⑩</p>	<p>USB ポート パソコンに接続する USB ケーブルを接続します。</p>
<p>⑪</p>	<p>通風口 内部で発生する熱を放出します。左右の下部と右の側面にある通風口をふさがないように設置してください。</p>



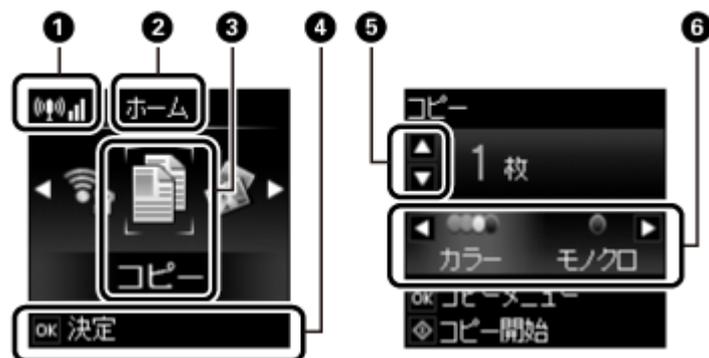
12	原稿カバー スキャン時に外部の光を遮ります。
13	原稿マット 原稿を押さえます。
14	原稿台 原稿をセットします。

操作パネル



名称	働き
1 【電源】 ボタン / 電源ランプ	電源の入 / 切をします。 電源ランプの点滅時（動作中、ネットワーク設定中、ファームウェア更新中）は電源を切らないでください。 電源プラグは電源ランプ消灯時に抜いてください。
2 【ホーム】 ボタン	ホーム画面を表示します。各モードの操作中に押すとホーム画面に戻ります。
3 液晶ディスプレイ	メッセージやガイドなどを表示します。 ➡ 「画面の見方と使い方」 9 ページ 一定の時間（メーカー設定値は「10 分」、設定変更可）以上操作しないとスリープモードに入り、表示が消えます。いずれかのボタンを押すとスリープモードから復帰します。 ➡ 「セットアップモード」 14 ページ
4 【選択 / 設定】 ボタン	液晶ディスプレイに表示される案内に従って押します。 項目の選択や印刷枚数の設定ができます。
5 【ストップ】 ボタン	コピーや印刷を中止するとき、1 つ前の画面に戻るときに押します。
6 【スタート】 ボタン	コピーや印刷などを開始します。

画面の見方と使い方



①	ネットワーク接続状態	
		無線 LAN 接続エラーまたは検索中
		無線 LAN 接続中 (信号強度：低)
		無線 LAN 接続中 (信号強度：中)
		無線 LAN 接続中 (信号強度：高)
		アドホックで接続中
		シンプル AP モードで接続中
		Wi-Fi Direct モードで接続中
		Wi-Fi 接続処理中
②	表示している画面の名称 (この例ではホーム画面が表示されている)	
③	選択されているモード (この例ではホーム画面で「コピー」が選択されている)	
④	操作するボタンの表示 (この例では【OK】ボタンで「決定する」ことを表示)	
⑤	操作するボタンの表示 (この例では【▲】【▼】ボタンで操作することを表示)	
⑥	操作するボタンの表示 (この例では【◀】【▶】ボタンで操作することを表示)	

メニュー一覧

操作パネルで設定できる項目の一覧です。

メニューや設定の組み合わせによって表示されない項目があります。

コピーモード

➔ 「コピーをする」32 ページ

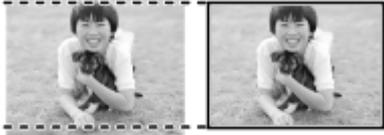
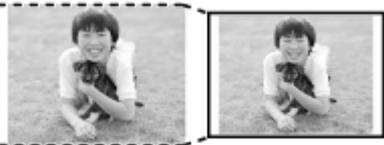
設定	説明	
コピー濃度	原稿の画像が薄いときは ▶ ボタンで濃度を上げてください。 また、こすれが発生するときは ◀ ボタンで濃度を下げてください。	
レイアウト	標準コピー	周囲に 3mm の余白（フチ）ありでコピーします。
	フチなしコピー	周囲に余白（フチ）なしでコピーします。
	A4 原稿を 2 アップ、 B5 原稿を 2 アップ	2 枚の原稿（A4 または B5 サイズ）を 1 枚の A4 サイズ用紙にコピーします。 
	A4-Book を 2 アップ、 B5-Book を 2 アップ	本などの 2 ページ分の原稿を、1 枚の A4 サイズ用紙にコピーします。 
	ミラーコピー	左右反転してコピーします。アイロンプリントペーパーに印刷するときなどに便利です。 
倍率	以下の設定値以外に、[A4 → B5] や [ハガキ → A4] など、定形用紙に合わせた倍率での拡大・縮小コピーもできます。	
	等倍	100%（等倍）でコピーします。
	オートフィット	原点からの余白を含めて原稿の文字や画像のある部分をスキャンし、そのデータを用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小してコピーします。 
	任意倍率	▼ ボタンを押すと [任意倍率] の設定画面に移行します。 ◀ ▶ ボタンで倍率を設定してください。 ◀ ▶ ボタンを長押しすると 10% 刻みで数値が変更します。
用紙サイズ	A4・B5・L判・2L判・ハガキ・KG サイズ・六切 セットした印刷用紙のサイズを選択します。	

設定		説明
用紙種類	普通紙・EPSON クリスピア・写真用紙・写真用紙ライト・フォト光沢紙・フォトマット紙・スーパーファイン紙・郵便光沢ハガキ・郵便Ⅱハガキ・郵便ハガキ・アイロンペーパー	セットした印刷用紙の種類を選択します。
原稿種	原稿の種類（文字・写真）を選択します。	
印刷品質	標準品質・エコノミー・きれい	[エコノミー] は速度優先で印刷するため、標準品質より薄く印刷されます。 [きれい] は標準品質に比べ、印刷画質を優先するため印刷時間が長くなります。
フチなしはみ出し量	標準、少ない、より少ない	フチなしコピーでは、原稿を印刷用紙のサイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。そのはみ出し量を選択します。 [少ない] や [より少ない] は、[標準] よりはみ出し量が少なくなるため、余白ができてしまうことがあります。 <div style="text-align: center;"> <p>少し欠ける</p>  <p>[標準] [少ない] [より少ない]</p> </div>

写真の印刷モード

- ➔ [「写真を見ながら選んで印刷」 37 ページ](#)
- ➔ [「いろいろな機能で印刷」 38 ページ](#)

設定		説明
用紙サイズ	L判・KGサイズ・2L判・ハガキ・六切・ハイビジョンサイズ・A4	セットした印刷用紙のサイズを選択します。
用紙種類	EPSON クリスピア・写真用紙・写真用紙ライト・フォト光沢紙・フォトマット紙・郵便Ⅱハガキ・郵便光沢ハガキ・郵便ハガキ・普通紙・フォトシール全面・アイロンペーパー	セットした印刷用紙の種類を選択します。
フチなし設定	フチあり	周囲に余白（フチ）を入れて印刷します。
	フチなし	周囲に余白（フチ）なしで印刷します。画像を少し拡大してからトリミングします。用紙の上部と下部で印刷品質が低下することがあります。
印刷品質	速い・標準品質・きれい	[速い] は速度優先で印刷するため、標準品質より薄く印刷されます。 [きれい] は標準品質に比べ、印刷画質を優先するため印刷時間が長くなります。

	設定	説明
フチなしはみ出し量	標準・少ない・より少ない	フチなし設定すると、画像を印刷用紙のサイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。そのはみ出し量を選択します。 [少ない] や [より少ない] は、[標準] よりはみ出し量が少なくなるため、余白ができてしまうことがあります。 <div style="text-align: center;"> <p>← 少し欠ける</p>  <p>[標準] [少ない] [より少ない]</p> </div>
日付表示	しない・年・月・日・月・日・年・日・月・年	日付を入れて印刷するときの表示方法を選択します。
トリミング	トリミングするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> パノラマ写真では設定が無効になることがあります。 [フチなし]・[上半分]・[下半分] のレイアウトでは、常にトリミングして印刷されます。 	
	する	上下（または左右）が切り取られます。 
	しない	左右（または上下）に余白ができます。 
双方向印刷		双方向で印刷するかどうかを設定します。[しない] にする（単方向印刷）と印刷品質は向上しますが、印刷速度が遅くなります。通常は [する] で印刷してください。
自動画質補正	オートフォトファイン！ EX	エプソン独自の画像解析・処理技術を使って自動的に高画質化します。
	P.I.M	PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラが写真データに付加した、プリント指示情報を元に補正します。
	自動補正なし	補正しません。
補正モード	標準（自動）・人物・風景・夜景	[自動画質補正] で [オートフォトファイン！ EX] を選択したときの補正モードを選択します。
赤目補正	する・しない	赤く撮影された目の色の補正方法を選択します。ただし、画像によっては赤目が補正されず、赤目以外の部分が補正されてしまうこともあります。
フィルター	なし・セピア・モノクロ	セピアまたはモノクロの画像にします。
明るさ調整	より明るく・明るく・標準・暗く・より暗く	画像の明るさを調整します。
コントラスト	標準・強く・より強く	明るい部分と暗い部分の差を調整します。

設定	説明
シャープネス	シャープネス強・シャープネス弱・標準・ソフトフォーカス弱・ソフトフォーカス強 画像の輪郭を調整します。
鮮やかさ調整	より鮮やか・鮮やか・標準・くすんだ・よりくすんだ 画像の鮮やかさを調整します。
レイアウト	フチなし・上半分・下半分・4面・9面・16面 「手書き合成シートを印刷する」で、合成写真を印刷時のレイアウトを選択します。 4面・9面・16面は、ミニフォトシールやフォトシールフリーカット印刷時に、用紙サイズで [ハガキ]、用紙種類で [フォトシール全面] または [ミニフォトシール 16] を選択します。
	2面・4面・8面・20面・フォトシール 16面・上半分・下半分・楕円-1面・楕円-上半分・証明写真・A4 額縁サイズ・ディスクケース片面・ディスクケースインデックス・P.I.F. フレーム 「いろいろなレイアウトの印刷」で、写真を印刷時のレイアウトを選択します。 •20面では、各写真の下にコマ番号や日付が印刷されます。 •フォトシール 16面は、ミニフォトシールやフォトシールフリーカット印刷時に使います。 •メモリーカードに P.I.F. フレームが保存されているときは「P.I.F.」と表示されます。P.I.F. フレームの保存方法は『よくわかる！カラリオガイド』（PDF マニュアル）をご覧ください。
	レーベル 1面・レーベル 4面・レーベル バラエティー 「ディスクレーベルに印刷」で、レーベル印刷時のレイアウトを選択します。 [レーベルバラエティー] では選択した 10 枚の写真を自動で配置します。
外径内径調整	「ディスクレーベルに印刷」で、レーベル印刷時の範囲を設定します。外径は最大 120mm まで、内径は最小 18mm まで設定できますが、設定値によってはディスクやトレイが汚れるおそれがあります。お使いのディスク印刷範囲内で設定してください。 <div style="text-align: center;"> <p>ワイドエリアタイプ</p>  </div> <p>ワイドエリアタイプ：印刷可能範囲が広いタイプ（内側ギリギリまで印刷可能）のディスク。</p>
ディスクレーベルに印刷する	ディスクレーベルに印刷します。
A4 普通紙に試し印刷する	ディスクレーベルに印刷する前にイメージを確認できます。試し印刷するには A4 サイズの普通紙をセットしてください。
写真ズーム	枠の移動、拡大 / 縮小などで写真の一部をズームアップして印刷できます。 【▲】 ボタンで枠を拡大（ズームアウト）、【▼】 ボタンで枠を縮小（ズームイン）、【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 ボタンで枠を移動、【ホーム】 ボタンで枠を回転させてください。

スキャンモード

➔ 「スキャンをする」 35 ページ

設定	説明
スキャンしてメモリーカードに保存	スキャンしたデータをメモリーカードに保存します。

設定	説明
スキャンしてパソコンへ (JPEG)	スキャンしたデータを JPEG 形式でパソコンに保存します。
スキャンしてパソコンへ (PDF)	スキャンしたデータを PDF 形式でパソコンに保存します。
スキャンしてパソコンへ (E メール)	スキャンしたデータをメールに添付します。

Epson iPrint 接続

本製品と Epson iPrint を組み合わせて、簡単にスマートフォンやタブレット端末を Wi-Fi Direct 接続します。接続の詳細は『スマートデバイス簡単接続ガイド』をご覧ください。

フォーム印刷モード

➔ 「フォームを印刷する」46 ページ

設定	説明
ノート罫線	罫線 (大)・罫線 (小)・罫線 (マス目)・五線譜
便箋	横罫線・縦罫線・罫線なし
スケジュール表	週間・月間

セットアップモード

設定	説明	
インク残量の表示	インク残量 (目安) を表示します。インクが少なくなると「!」マークが表示されます。インク残量が限界値以下になると「x」マークが表示されます。インクカートリッジを交換する場合は [カートリッジ交換] を選択してください。 ➔ 「インクカートリッジの交換」57 ページ	
プリンターのお手入れ	ノズルチェック	印刷結果にスジが入る、おかしな色味で印刷される、などのトラブルが発生したときに行います。 ➔ 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」62 ページ
	ヘッドクリーニング	
	ギャップ調整	プリントヘッドの位置を調整します。印刷結果がぼやけている、文字や罫線がガタガタしている、などのトラブルが発生したときに行います。 ➔ 「印刷品質」53 ページ
	インクカートリッジ交換	インクカートリッジ交換のメッセージが表示される前に交換するときなどに選択します。 ➔ 「インクカートリッジの交換」57 ページ

設定		説明
プリンターの基本設定	ディスクレーベル印刷位置調整	ディスクレーベルの印刷位置がずれるときに印刷位置の調整値（上下・左右）を設定します。
	シール印刷位置調整	ミニフォトシールの印刷位置がずれるときに印刷位置の調整値（上下・左右）を設定します。
	こすれ軽減	印刷結果がこすれて汚れるときに設定します。[する] にすると、印刷速度が遅くなることがあります。印刷こすれが発生したときだけお使いください。電源を切ると [しない] に戻ります。
	静音モード	[オン] にすると印刷の動作を静かにします。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。
	スクリーンセーバー設定	[メモリーカード内の写真] にすると、最終操作の約 3 分後に液晶ディスプレイに写真が順次表示されます。
	自動電源オフ設定	プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切るかどうか、切る場合は切るまでの時間を設定します。
	スリープ移行時間設定	プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。
	言語選択 /Language	操作パネルに表示される言語を選択します。
ネットワーク設定	無線 LAN 設定	無線 LAN 設定モードに移行します。 ➡ 「無線 LAN 設定モード」 16 ページ
	ネットワーク接続診断	ネットワークの接続状態を診断します。診断結果を印刷すると、詳細な情報が確認できます。診断結果の見方は『ネットワークガイド』-「トラブル解決」-「エラーメッセージが表示された」をご覧ください。
	ネットワーク情報印刷	ネットワークステータスシートを印刷します。ネットワークの設定と接続状態が確認できます。
ファイル共有設定	USB 接続優先	メモリーカードへの書き込みを許可するパソコンの接続形態を選択します。
	ネットワーク接続優先	優先させた形態で接続されたパソコンからは読み書きが可能ですが、他方は読み取りのみになります。
外部機器印刷設定	外部機器（デジタルカメラなど）からの印刷に関する設定をします。	
便利機能の設定	印刷前の用紙サイズ確認	[オン] にすると、印刷前にセットした用紙と設定したサイズを自動で確認します。
購入時の設定に戻す	ネットワーク設定	設定値を購入時の状態に戻します。
	ネットワーク設定以外	
	全ての設定	

静音モード

[オン] にすると印刷の動作を静かにします。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。

無線 LAN 設定モード

設定	説明
手動設定	無線 LAN 設定を操作パネルから行います。詳細は『ネットワークガイド』をご覧ください。
プッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS)	
PIN コード自動設定 (WPS)	文字入力の仕方は以下をご覧ください。 ➡ 「文字入力」 69 ページ
Wi-Fi Direct 設定	無線 LAN 使用時は、WEP や WPA などのセキュリティを設定してください。 ➡ 「セキュリティ」 74 ページ
カンタン自動設定	
ネットワーク情報印刷	ネットワークステータスシートを印刷します。ネットワークの設定と接続状態が確認できます。
無線 LAN を無効にする	無線 LAN を使用しないときに無線電波を出さないようにします。 ネットワークトラブルの発生時に、無効にしたり、初期化して再設定したりすると、解決することがあります。詳細は『ネットワークガイド』-「トラブル解決」をご覧ください。

セットの仕方

印刷用紙のセット

印刷できる用紙と設定

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。また、最適な印刷結果を得るために用紙に合った設定（用紙種類）で印刷してください。以下は 2013 年 5 月現在の情報です。

操作パネルの画面に選択肢として表示されない用紙（種類・サイズ）は、その設定では印刷できないか、またはパソコンからの印刷のみに対応しています。

エプソン製専用紙（純正品）

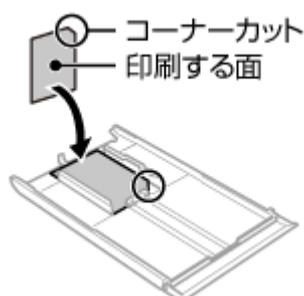
用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数※ 1	印刷できる面
写真用紙クリスピー<高光沢>※ 2 ※ 3	L判・KGサイズ・2L判・六切・A4	20 枚※ 4	より光沢のある面
写真用紙<光沢>※ 2	L判・KGサイズ・2L判・ハイビジョンサイズ・六切・A4	20 枚※ 4	
写真用紙ライト<薄手光沢>※ 2	L判・KGサイズ・2L判・A4	20 枚※ 4	
写真用紙エントリー<光沢>※ 2	L判・KGサイズ・2L判・A4	20 枚※ 4	
フォト光沢紙※ 3 ※ 6	A4	20 枚	
写真用紙<絹目調>※ 2	L判・2L判・A4	20 枚※ 4	
	ハガキ	40 枚※ 4 ※ 5	両面
フォトマット紙	A4	20 枚	より白い面
スーパーファイン紙	A4	80 枚	
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	1 枚	白い面
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	40 枚※ 5	両面
両面上質普通紙<再生紙>	A4	80 枚※ 5	両面
ミニフォトシール※ 7	ハガキ（16分割）	1 枚	コーナーカットが右上にくる面
フォトシールフリーカット※ 7	ハガキ	1 枚	白い面
アイロンプリントペーパー	A4	1 枚	
両面マット名刺用紙	A4	1 枚	両面

- ※ 1 セット枚数を超えてセットしないでください。
- ※ 2 Epson Color 対応用紙
- ※ 3 パッケージに入っているクリーニングシートは本製品では使用できません。
- ※ 4 印刷結果がこすれたりムラになったりするときは 1 枚ずつセットしてください。
- ※ 5 片面に印刷済みの用紙は 30 枚（写真用紙＜絹目調＞ハガキは 20 枚）まで
- ※ 6 フォト光沢紙のパッケージに入っている取扱説明書を、給紙を安定させるための補助シートとしてお使いください。

裏面（何も書かれていない面）を上にしてセットし、その上にフォト光沢紙をセットします。

- ※ 7 シール用紙のパッケージに入っている給紙補助シートは、本製品では使用しません。

ミニフォトシールは下図のようにセットしてください。



市販の用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数※ 1	印刷できる面
コピー用紙・事務用普通紙	A4・B5・A5・Letter	用紙ガイドの上限まで※ 2 ▲ ≡ ≡ ≡ ≡ △マーク上の線を超えない	両面
	Legal	1 枚	
	A6	20 枚	
	ユーザー定義サイズ	1 枚	
郵便ハガキ※ 3	ハガキ	40 枚※ 2	両面
郵便ハガキ（インクジェット紙）※ 3	ハガキ	40 枚※ 2	
郵便光沢ハガキ（写真用）※ 3	ハガキ	40 枚※ 2	
往復ハガキ※ 3	往復ハガキ	20 枚	
封筒	長形 3 号・4 号	10 枚	両面
	洋形 1 号・2 号・3 号・4 号	10 枚	宛名面のみ

- ※ 1 セット枚数を超えてセットしないでください。
- ※ 2 片面に印刷済みの用紙は 30 枚までです。
- ※ 3 日本郵便株式会社製

【用紙種類】 の設定

最適な印刷結果を得るためには、印刷用紙に適した【用紙種類】を設定してください。

用紙名称	[用紙種類] の設定		
	コピー	写真の印刷	パソコンから印刷
写真用紙クリスピー<高光沢>	EPSON クリスピー		EPSON 写真用紙クリスピー
写真用紙<光沢> 写真用紙<絹目調>	写真用紙		EPSON 写真用紙
写真用紙<絹目調>ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：写真用紙		宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON 写真用紙
写真用紙ライト<薄手光沢>	写真用紙ライト		EPSON 写真用紙ライト
写真用紙エントリー<光沢>	写真用紙		EPSON 写真用紙エントリー
フォト光沢紙	フォト光沢紙		EPSON フォト光沢紙
スーパーファイン紙	スーパーファイン紙	×	EPSON スーパーファイン紙
スーパーファイン専用ラベルシート	×		
スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙
フォトマット紙	フォトマット紙		EPSON フォトマット紙
両面上質普通紙<再生紙> コピー用紙・事務用普通紙	普通紙		普通紙
ミニフォトシール	×	ミニフォトシール 16	EPSON フォトシール
フォトシールフリーカット	×	フォトシール全面	
アイロンプリントペーパー	アイロンペーパー		EPSON アイロンプリントペーパー
郵便ハガキ※ 1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ		宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ
郵便ハガキ（インクジェット紙）※ 1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
郵便光沢ハガキ（写真用）※ 1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便光沢ハガキ		宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便光沢ハガキ
往復ハガキ※ 1	×		宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ
封筒※ 2	×		封筒
両面マット名刺用紙※ 2	×		EPSON 両面マット名刺用紙

× 非対応です。

※ 1 日本郵便株式会社製

※ 2 長形 3 号・4 号封筒、両面マット名刺用紙は、Windows パソコンからの印刷のみに対応しています（Mac OS X は非対応）。

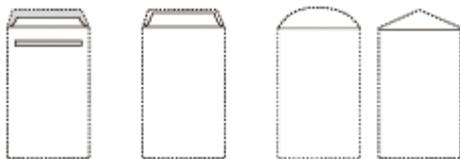
使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

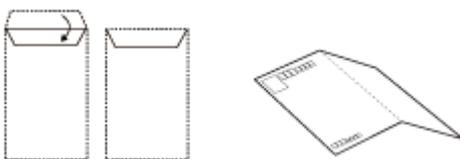
- 波打っている、破れている、切れている、折りがある、湿っている、反っている、丸まっている、シールなどが貼ってある用紙



- 糊付けまたは接着の処理が施された封筒、二重封筒、窓付き封筒、フラップが円弧や三角形の長形封筒や角形封筒



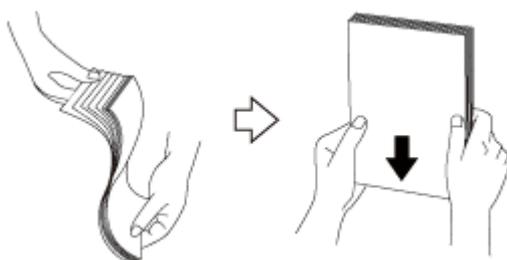
- フラップを一度折った長形封筒、一度折った往復ハガキ



- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ

取り扱い上のご注意

- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。



- 封筒をセットするときは、よくさばいて側面を整えてください。膨らんでいるときは平らになるように手でならし、膨らみを取り除いてください。



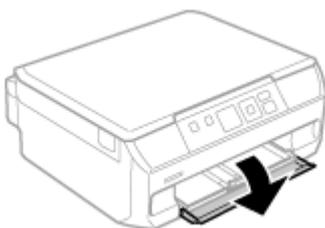
- ハガキへの両面印刷は、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。宛名面から先に印刷することをお勧めします。



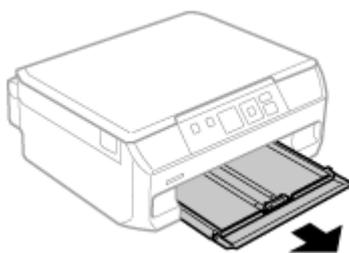
用紙トレイ

印刷用紙は以下の手順でセットします。

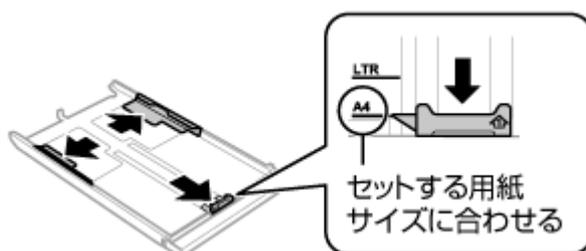
1. 前面カバーを開けます。



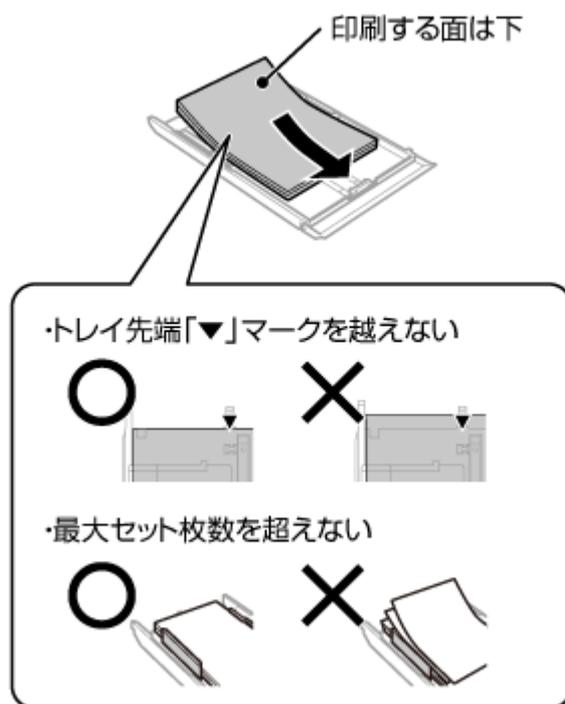
2. 用紙トレイを抜きます。



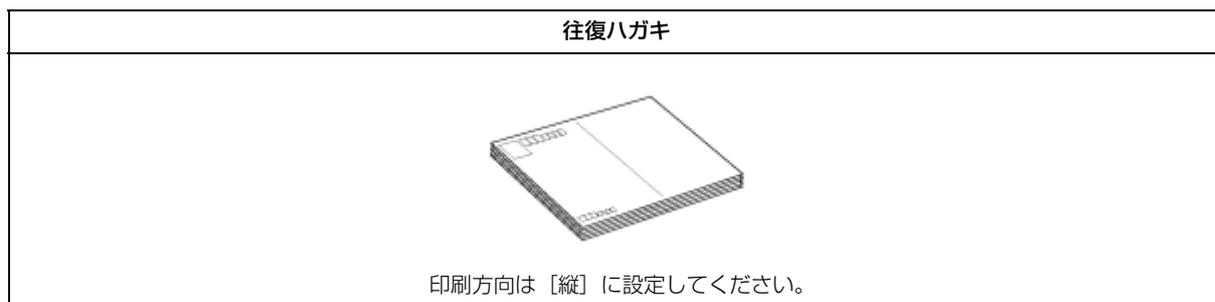
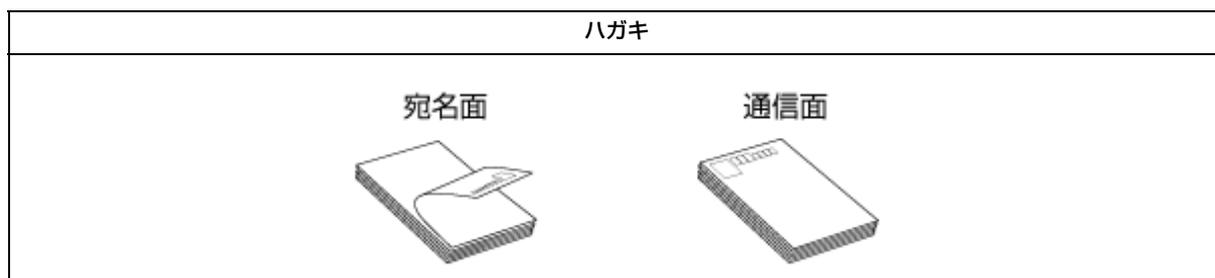
3. 用紙ガイドを広げて、用紙サイズに合わせます。

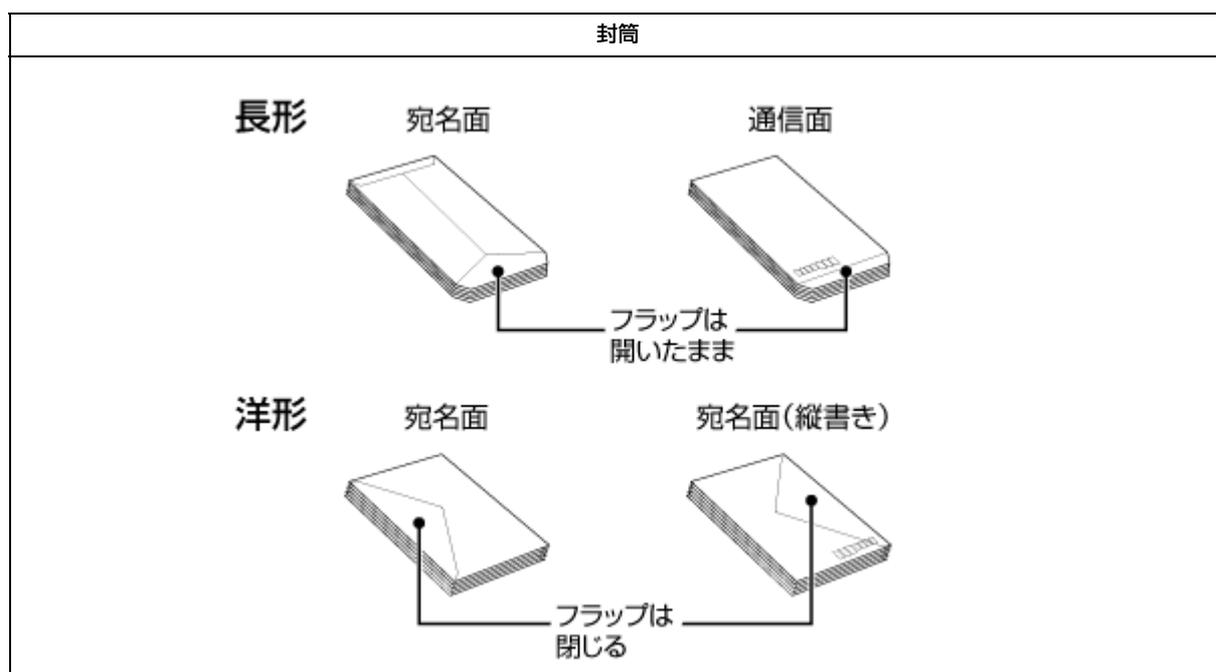


4. 印刷する面を下にして、手前の用紙ガイドに合わせてセットします。

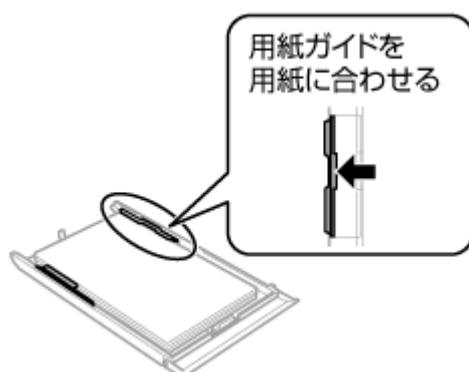


ハガキや封筒などは印刷する面を下にして、以下のようにセットしてください。





5. 用紙ガイドを用紙に合わせてみます。



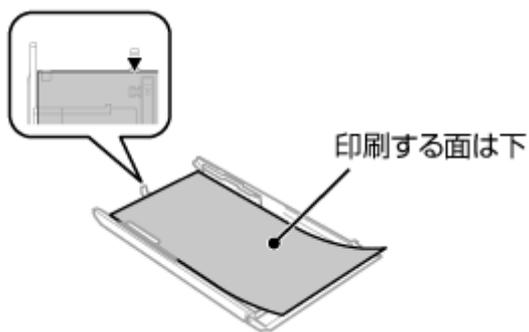
6. 用紙トレイをセットします。



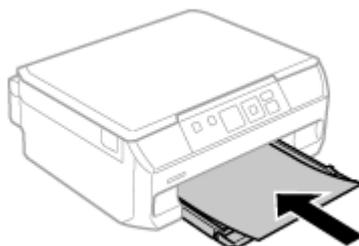
参考

A4 サイズより大きい用紙をセットするときは、下図のように下トレイに用紙を 1 枚だけセットしてください。

▼ マークに合わせて用紙を 1 枚のみセットする



下トレイを本体にゆっくり挿入する



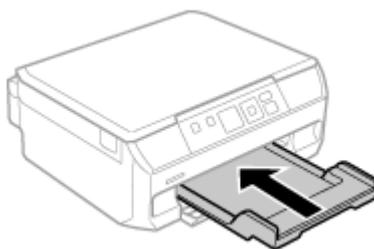
以上で終了です。

ディスクのセット

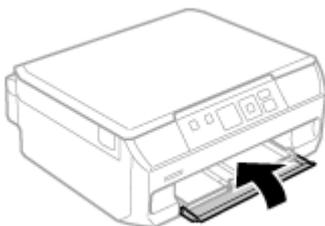
「レーベル面印刷可能」や「インクジェットプリンター対応」などと表記されている、12cm サイズのディスクに印刷できます。印刷できることを確認したメディアの情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

➔ <http://www.epson.jp/support/taiou/media/>

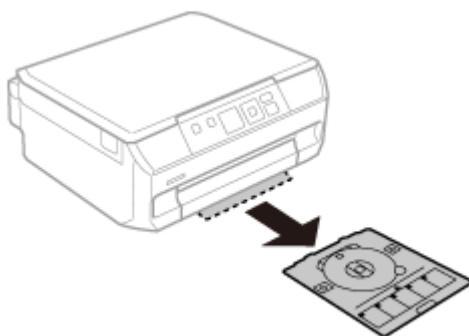
1. 排紙トレイが出ているときは、トレイの上に何も無いことを確認し、手で押し戻します。



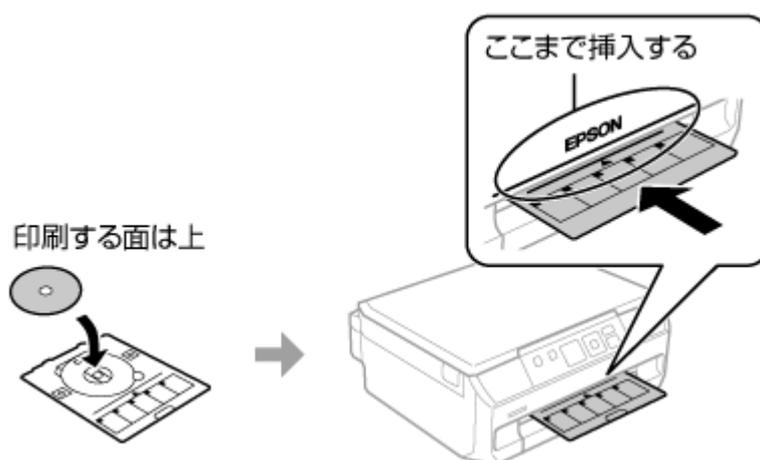
2. 前面カバーを閉めます。



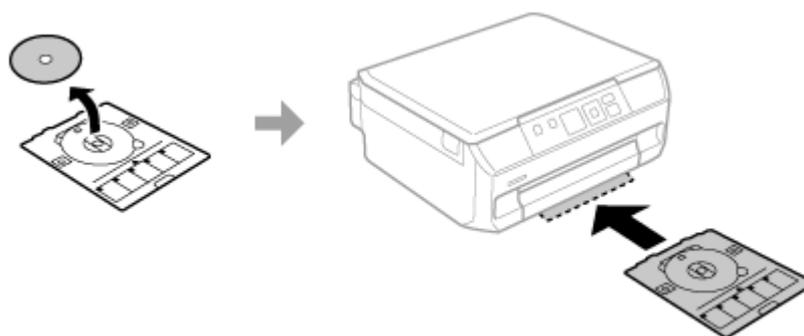
3. ディスクトレイを取り出します。



4. ディスクトレイにディスクを載せ、ディスクトレイを本体に挿入します。



印刷が終了するとディスクトレイは自動で排出されます。ディスクを取り外して、ディスクトレイを本体の底面に収納してください。



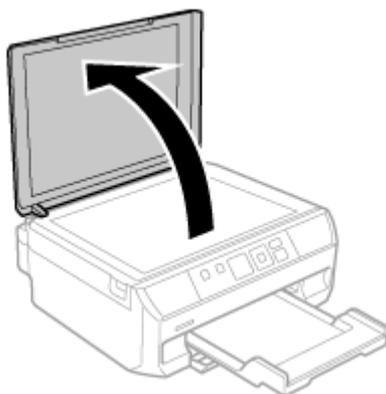
重要

印刷後、ディスクトレイは必ず抜いてください。プリンターにセットした状態で、電源の入・切やプリントヘッドのクリーニングなどをすると、プリントヘッドとトレイ先端が接触して故障するおそれがあります。

以上で終了です。

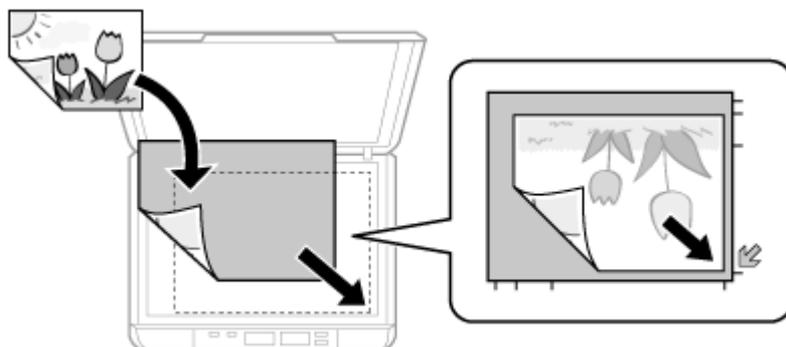
原稿のセット

原稿は以下の手順でセットします。

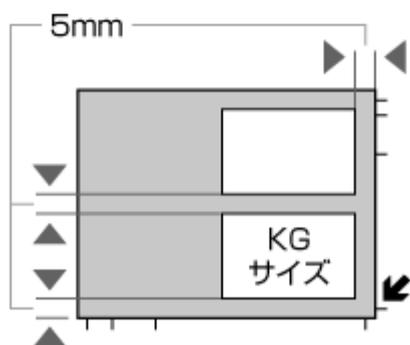
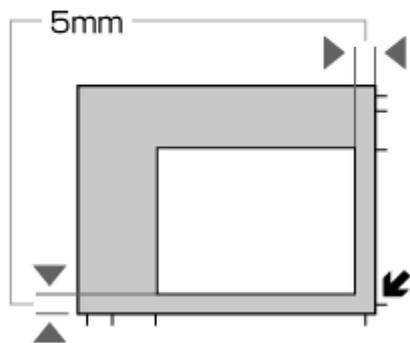
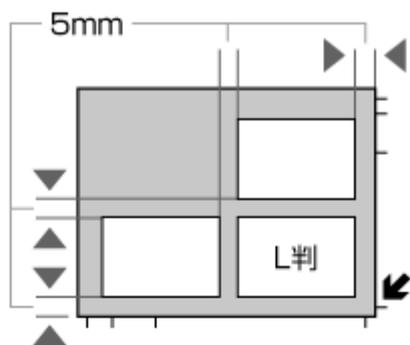
1. 原稿カバーを開けます。**2. 原稿やディスクをセットします。**

スキャンする（読み取る）面を下にして、ガラス面の角（原点マーク側）に合わせてください。

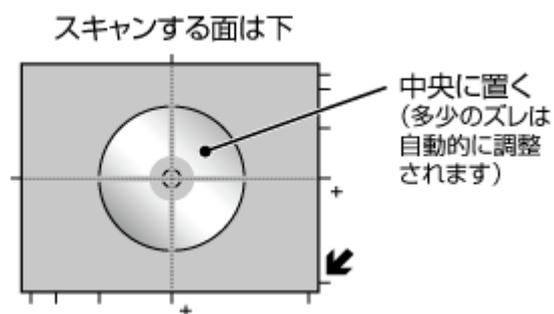
原稿台の下端から 1.5mm、右端から 1.5mm の範囲はスキャンできません。



• 写真コピー時のセット方法

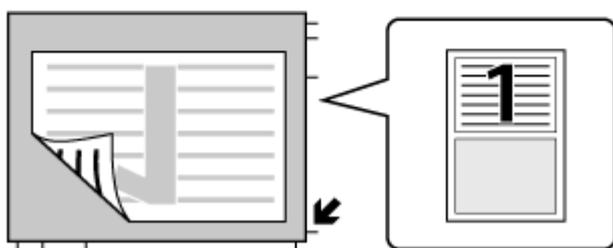
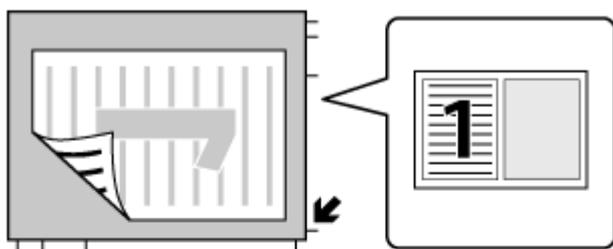


• ディスクコピー時のセット方法

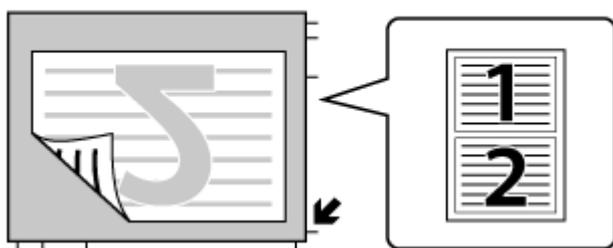
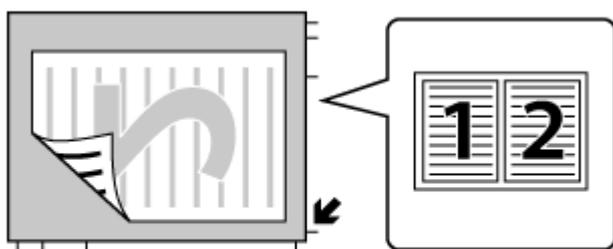


•A4 (B5) 原稿を 2 アップコピー時のセット方法

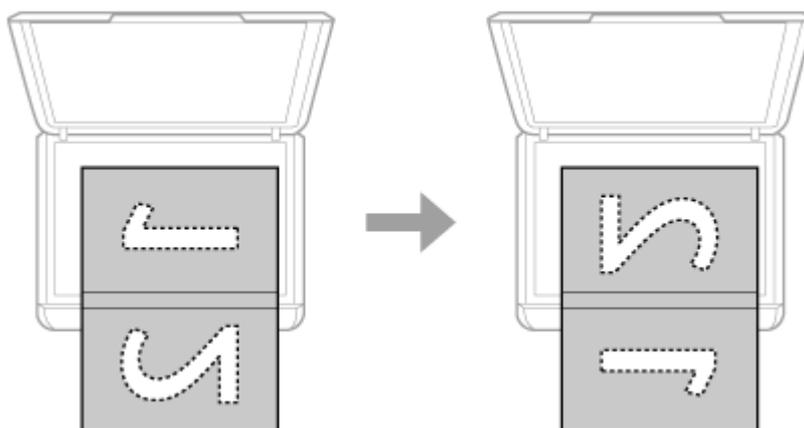
1 枚目の原稿



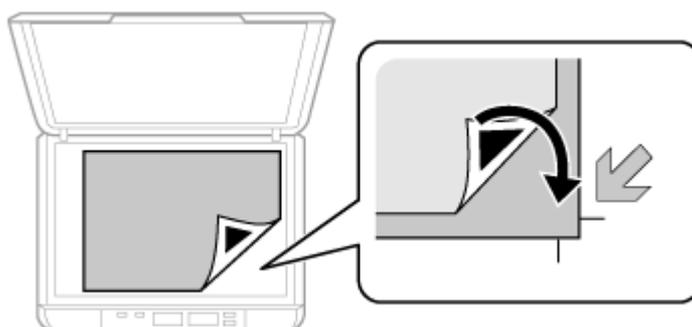
2 枚目の原稿



- A4 (B5) -Book を 2 アップコピー時のセット方法



- 手書き合成シート、オーダーシート印刷時のセット方法



3. 原稿カバーを閉めます。

コピー終了後は、原稿やディスクを取り出します。

以上で終了です。

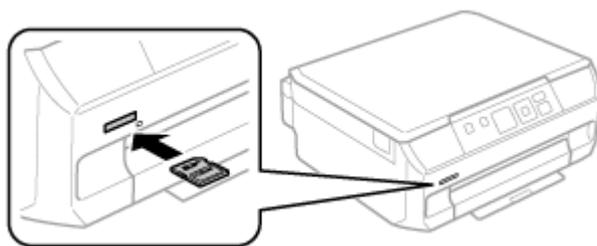
メモリーカードのセット

メモリーカードのセット

メモリーカードスロットにセットします。正しく認識されるとランプが点灯します。

写真の印刷をするときは以下をご覧ください。

- ➔ [「メモリーカードの写真を印刷する」 37 ページ](#)



使用できるメモリーカードは 2013 年 5 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページ「よくあるご質問 (FAQ)」でご確認ください。

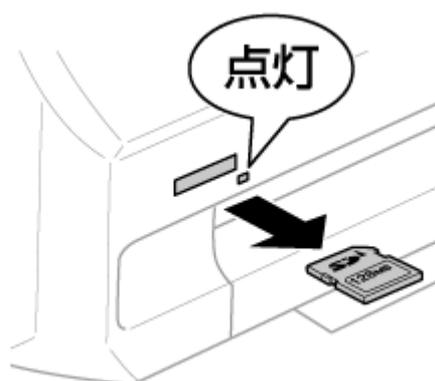
➔ <http://www.epson.jp/faq/>

使用できるメモリーカードの種類	サポートしている最大容量
	メモリースティック Duo メモリースティック PRO Duo メモリースティック PRO HG Duo マジックゲートメモリースティック Duo 128MB 32GB 32GB 128MB
	メモリースティック マイクロ※ 32GB
	miniSD カード※ miniSDHC カード※ microSD カード※ microSDHC カード※ microSDXC カード※ 2GB 32GB 2GB 32GB 64GB
	SD メモリーカード SDHC メモリーカード SDXC メモリーカード 2GB 32GB 64GB

※ そのままセットできるメモリーカードと同じサイズになる専用アダプターを用意してください。装着せずにセットすると、カードが取り出せなくなるおそれがあります。

メモリーカードの取り出し

ランプの点灯 (点滅していないこと) を確認してから引き抜いてください。



**重要**

- ランプが点滅中（通信中）は、メモリーカードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- パソコンで共有ドライブとして使用しているときは、以下を参照して取り出してください。
 - ➔ 『ユーザーズガイド』 - 「その他の機能」 - 「共有ドライブとしての使い方」

プリンターだけで使う

コピーをする

基本コピー

コピー濃度・用紙サイズ・用紙種類・印刷品質・倍率などのコピー設定を確認・変更してコピーします。

1. 以下の作業が終了していることを確認します。

- 印刷用紙のセット
→ [「用紙トレイ」21 ページ](#)
- 原稿のセット
→ [「原稿のセット」25 ページ](#)
- 排紙トレイの引き出し
→ [「本体」6 ページ](#)

2. ホーム画面で【コピー】モードを選択します。

【◀ ▶】ボタンで【コピー】を選択し、【OK】ボタンで決定してください。

3. 【▲】【▼】ボタンでコピー枚数を設定します。

4. 【◀ ▶】ボタンでコピーの仕方（カラーコピーかモノクロコピーか）を選択します。

5. 【OK】ボタンを押し、コピーメニューから【印刷設定】を選択します。

【◀ ▶】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定してください。

6. 設定内容（用紙サイズや用紙種類など）を確認します。

設定を変更したいときは【▼】ボタンを押してください。

- ① 【▲】【▼】ボタンで設定項目を選択
- ② 【◀ ▶】ボタンで設定値を変更
- ③ 【OK】ボタンで決定

右側にあるバー（オレンジ色）は「続きの情報がある」ことを示しています。【▲】【▼】ボタンで表示させてください。

変更できる項目の詳細は以下をご覧ください。

→ [「メニュー一覧」9 ページ](#)

7. 【スタート】ボタンを押します。

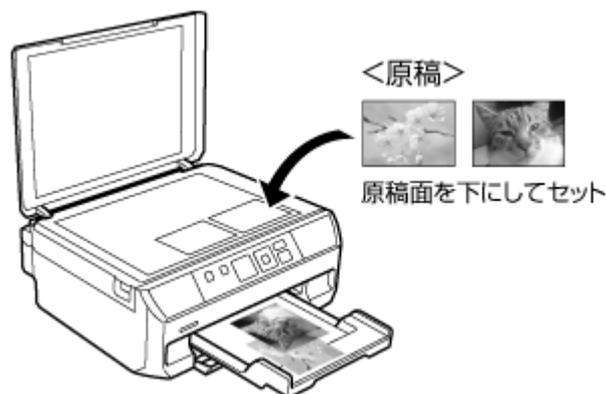
コピー（スキャンして印刷）が始まります。

中止するときは【ストップ】ボタンを押してください。

以上で終了です。

写真コピー

写真の焼き増しや引き伸ばしが簡単にできます。



- コピーできる原稿の最小サイズは 30 × 40mm です。
- 写真の周囲の白い部分が認識されないことがあります。
- 写真をズームアップしてコピーすることもできます。ただし、写真コピーからは枠の回転はできません。
➔ [「写真の印刷モード」 11 ページ](#)

1. 以下の作業が終了していることを確認します。

- 印刷用紙のセット
➔ [「用紙トレイ」 21 ページ](#)
- 原稿のセット
➔ [「原稿のセット」 25 ページ](#)
- 排紙トレイの引き出し
➔ [「本体」 6 ページ](#)

2. ホーム画面で [コピー] モードを選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで [コピー] を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

3. 【OK】 ボタンを押してコピーメニューを表示します。

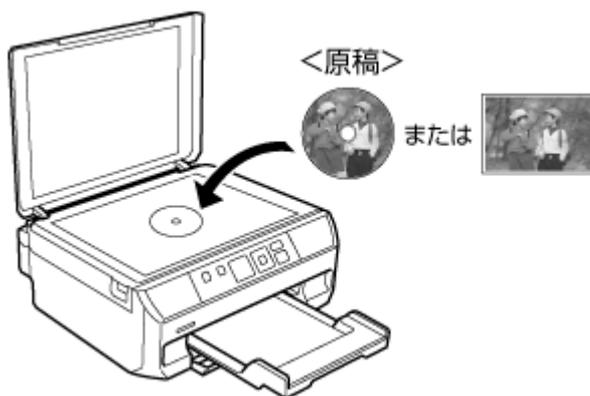
4. [写真コピー] を選択します。

この後は画面の指示に従って操作してください。

以上で終了です。

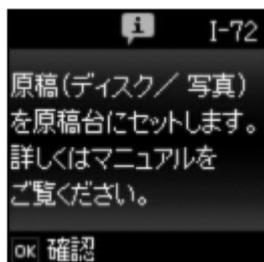
ディスクレーベルコピー

ディスクレーベルからのコピーや、写真などの四角い原稿をディスクレーベルに印刷できます。

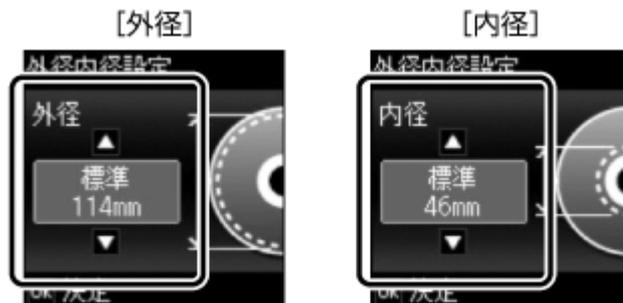
**重要**

手順7でディスク挿入のメッセージが表示されるまでは、ディスクをセットしないでください。

1. ホーム画面で [コピー] モードを選択します。
 【◀ ▶】 ボタンで [コピー] を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。
2. 【OK】 ボタンを押してコピーメニューを表示します。
3. [ディスクレーベルにコピー] を選択します。
4. 以下の画面が表示されたら原稿をセットして 【OK】 ボタンを押します。
 → 「原稿のセット」 25 ページ



5. 画面のメッセージを確認して進み、ディスクの印刷領域を設定します。



【▲】 【▼】 ボタンで数値を設定し、【OK】 ボタンを押してください。

6. 印刷方法を選択して 【OK】 ボタンを押します。

「A4 普通紙に試し印刷する」では、A4 サイズの普通紙に試し印刷してイメージを確認できます。



7. ディスク挿入のメッセージが表示されたらディスクをセットして、**[OK]** ボタンを押します。

「A4 普通紙に試し印刷する」を選択したときは、用紙トレイに A4 サイズの普通紙をセットしてください。

- ➔ 「ディスクのセット」24 ページ
- ➔ 「印刷用紙のセット」17 ページ

8. **[◀ ▶]** ボタンでコピーの仕方（カラーコピーかモノクロコピーか）を選択します。

9. **[OK]** ボタンを押し、その他の設定を変更したいときは **[▼]** ボタンを押してください。

- ① **[▲] [▼]** ボタンで設定項目を選択
- ② **[◀ ▶]** ボタンで設定値を変更
- ③ **[OK]** ボタンで決定

右側にあるバー（オレンジ色）は「続きの情報がある」ことを示しています。**[▲] [▼]** ボタンで表示させてください。

10. **[スタート]** ボタンを押します。

印刷が始まります。

中止するときは **[ストップ]** ボタンを押してください。

以上で終了です。

スキャンをする

スキャンする

書類や雑誌などの印刷物をスキャンしたデータを以下の形式で保存できます。

- スキャンしてメモリーカードに保存
- スキャンしてパソコンへ（JPEG）
- スキャンしてパソコンへ（PDF）
- スキャンしてパソコンへ（Eメール）

メモリーカードに保存する

スキャンした画像をメモリーカードに保存します。

1. 原稿とメモリーカードをセットします。

- ➔ 「原稿のセット」 25 ページ
- ➔ 「メモリーカードのセット」 29 ページ

2. ホーム画面で【スキャン】モードを選択します。

3. 【◀ ▶】 ボタンで【スキャンしてメモリーカードに保存】を選択し、【OK】 ボタンを押します。

メモリーカード内のデータ容量が大きいと、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。

4. 設定内容（保存形式やスキャン範囲など）を確認します。

設定を変更したいときは【▼】 ボタンを押してください。

- ① 【▲】 【▼】 ボタンで設定項目を選択
- ② 【◀ ▶】 ボタンで設定値を変更
- ③ 【OK】 ボタンで決定

右側にあるバー（オレンジ色）は「続きの情報がある」ことを示しています。【▲】 【▼】 ボタンで表示させてください。

項目	設定値と説明
保存形式	[JPEG] ・ [PDF]
カラー	[カラー] ・ [モノクロ]
スキャン範囲	[A4]（A4 サイズでスキャンします）
	[自動キリトリ]（文字や画像のある部分のみスキャンします）
	[最大範囲]（原稿台の範囲を全てスキャンします）
原稿タイプ	[文字] ・ [写真]
解像度	[200dpi] ・ [300dpi] ・ [600dpi]
濃度	▶ ボタンで濃度を上げ、◀ ボタンで濃度を下げてください。
原稿の向き	[縦] ・ [横]

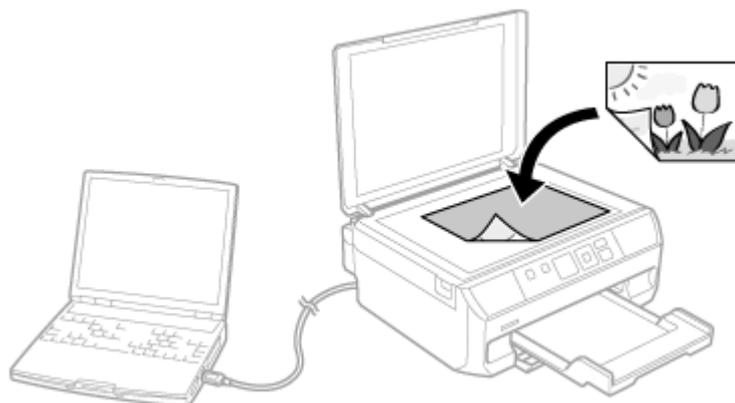
5. 【スタート】 ボタンでスキャンを開始します。

以上で終了です。

パソコンに保存する

この機能を使うには、本製品とパソコンを接続して付属のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- ➔ 『ユーザズガイド』 - 「スキャン」 - 「プリンター操作パネルのスキャン機能」



1. 原稿をセットします。

➔ [「原稿のセット」 25 ページ](#)

2. ホーム画面で [スキャン] モードを選択します。

3. [◀] [▶] ボタンで保存の仕方を選択し、[OK] ボタンを押します。

4. [▲] [▼] ボタンでパソコンを選択し、[スタート] ボタンを押します。

以上で終了です。



参考

- プリンターの操作パネルに表示されるパソコンは、20 台までです。
- スキャンデータを保存するパソコンがネットワーク上にある場合、「コンピューター名」の先頭から 15 文字までが操作パネルに表示されます。Epson Event Manager で「ネットワークスキャン名」を設定していると、ネットワークスキャン名が表示されます。
- コンピューター名に半角英数字以外の文字が含まれていると、スキャンデータを保存するパソコンが操作パネルに正しく表示されません。この場合は、Epson Event Manager で「ネットワークスキャン名」を設定してください。設定方法は Epson Event Manager のヘルプをご覧ください。
- 付属のソフトウェア「Epson Event Manager」を使用すると、使用頻度の高いスキャン動作への変更ができます。

メモリーカードの写真を印刷する

写真を見ながら選んで印刷

メモリーカードに入っている写真を見ながら選んで印刷します。

1. 以下の作業が終了していることを確認します。

- 排紙トレイの引き出し
 - ➔ [「本体」 6 ページ](#)
- 印刷用紙のセット
 - ➔ [「用紙トレイ」 21 ページ](#)

2. メモリーカードをセットします。

➔ [「メモリーカードのセット」 29 ページ](#)

3. ホーム画面で「写真の印刷」モードを選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで「写真の印刷」を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

4. 「写真を見ながら選んで印刷」を選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

5. 写真を選択して印刷枚数を設定します。

【◀】 【▶】 ボタンで写真を選択し、【▲】 【▼】 ボタンで印刷枚数を設定してください。

6. 【OK】 ボタンを押し、設定内容（用紙サイズや用紙種類など）を確認します。

設定を変更したいときは【▼】 ボタンを押してください。

① 【▲】 【▼】 ボタンで設定項目を選択

② 【◀】 【▶】 ボタンで設定値を変更

③ 【OK】 ボタンで決定

右側にあるバー（オレンジ色）は「続きの情報がある」ことを示しています。【▲】 【▼】 ボタンで表示させてください。

変更できる項目の詳細は以下をご覧ください。

➔ [「メニュー一覧」 9 ページ](#)

7. 【スタート】 ボタンを押します。

印刷が始まります。

中止するときは【ストップ】 ボタンを押してください。

以上で終了です。

いろいろな機能で印刷

全ての写真を印刷

メモリーカード内の全ての写真を印刷できます。

1. 以下の作業が終了していることを確認します。

- 排紙トレイの引き出し

➔ [「本体」 6 ページ](#)

- 印刷用紙のセット

➔ [「用紙トレイ」 21 ページ](#)

2. メモリーカードをセットします。

➔ [「メモリーカードのセット」 29 ページ](#)

3. ホーム画面で [写真の印刷] モードを選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで [写真の印刷] を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

4. [全ての写真を印刷] を選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

この後は、画面の指示に従って操作してください。

以上で終了です。

ディスクレーベルに印刷

メモリーカード内の写真をディスクレーベルに印刷できます。

選択可能なレイアウトは以下の3種類です。



重要

手順9でディスク挿入のメッセージが表示されるまでは、ディスクをセットしないでください。

1. メモリーカードをセットします。

➔ [「メモリーカードのセット」 29 ページ](#)

2. ホーム画面で [写真の印刷] モードを選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで [写真の印刷] を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

3. [ディスクレーベルに印刷] を選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

4. レイアウトを選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

5. 写真を選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで写真を選択し、【▲】 【▼】 ボタンで枚数を設定してください。

レーベル4面は写真を4枚、レーベルバラエティーは写真を10枚設定してください。

6. 【OK】 ボタンを押し、印刷設定を変更したいときは【▼】 ボタンを押ししてください。

- ① **【▲】【▼】** ボタンで設定項目を選択
- ② **【◀】【▶】** ボタンで設定値を変更
- ③ **【OK】** ボタンで決定

右側にあるバー（オレンジ色）は「続きの情報がある」ことを示しています。**【▲】【▼】** ボタンで表示させてください。

7. **【OK】** ボタンを押してメッセージを確認し、ディスクの印刷領域を設定します。

【▲】【▼】 ボタンで数値を設定し、**【OK】** ボタンを押してください。

8. 印刷方法を選択して **【OK】** ボタンを押します。

「A4 普通紙に試し印刷する」では、A4 サイズの普通紙に試し印刷してイメージを確認できます。



9. ディスク挿入のメッセージが表示されたらディスクをセットして、**【OK】** ボタンを押します。

「A4 普通紙に試し印刷する」を選択したときは、用紙トレイに A4 サイズの普通紙をセットしてください。

- ➔ [「ディスクのセット」24 ページ](#)
- ➔ [「印刷用紙のセット」17 ページ](#)

10. **【スタート】** ボタンを押します。

印刷が始まります。

中止するときは **【ストップ】** ボタンを押してください。

以上で終了です。

手書き合成シートを使って印刷

メモリーカード内の写真を選択して手書き合成シートを印刷し、文字やイラストを記入してスキャンすると、その文字やイラストが入った写真が印刷できます。

1. 以下のものを用意します。

- 手書き合成シートを印刷する A4 サイズの普通紙
- 合成写真を印刷する用紙（L 判または KG サイズの写真用紙・ハガキ・フォトシールフリーカット・ミニフォトシール）
- 写真の入ったメモリーカード
- HB などの濃い鉛筆・筆ペン・フェルトペンなど

2. A4 サイズの普通紙をセットします。

- ➔ [「用紙トレイ」21 ページ](#)

3. 排紙トレイを引き出します。

→ 「本体」6 ページ

4. メモリーカードをセットします。

→ 「メモリーカードのセット」29 ページ

セットしたメモリーカードは、合成写真の印刷が終わるまで抜かないでください。

5. ホーム画面で【写真の印刷】モードを選択します。

【◀ ▶】ボタンで【写真の印刷】を選択し、【OK】ボタンで決定してください。

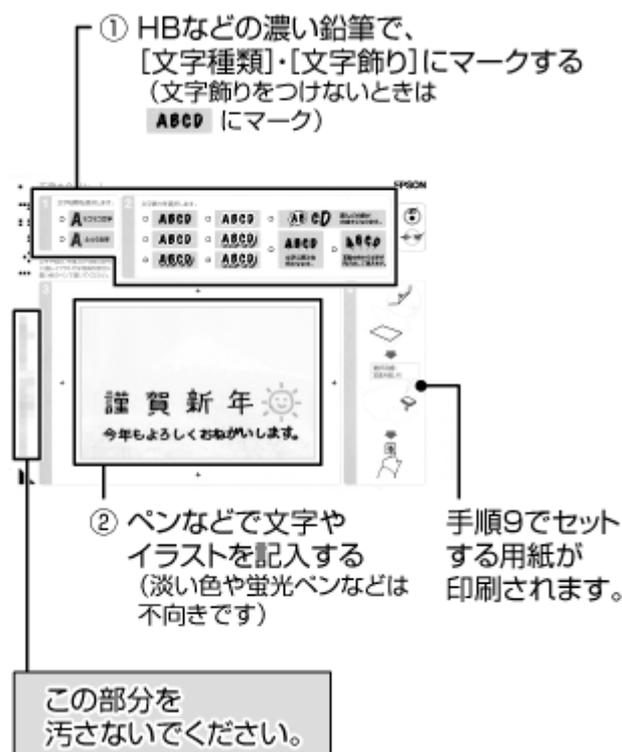
6. 【手書き合成シート使って印刷】 - 【手書き合成シートを印刷する】の順に選択します。

【◀ ▶】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定してください。

7. 画面の指示に従って以下の内容を設定し、シートを印刷します。

- ① 合成する写真を選択
- ② 合成写真を印刷する用紙のサイズ・種類・レイアウト・合成フレームを選択
- ③ 手書き合成シートを印刷

8. 手書き合成シートに記入します。



9. 手書き合成シートに表示された用紙をセットします。

10. 【手書き合成シートを使ってプリントする】を選択します。

【◀ ▶】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定してください。

11. 記入した手書き合成シートを原稿台にセットします。

➔ 「原稿のセット」 25 ページ

12.【スタート】 ボタンを押します。

合成写真が印刷されます。

以上で終了です。

いろいろなレイアウトに印刷

2面、4面、20面など、いろいろなレイアウトで印刷できます。

- 20面では、各写真の下にコマ番号や日付が印刷されます。
- フォトシール 16面は、ミニフォトシールやフォトシールフリーカット印刷時に使います。
- メモリーカードに P.I.F. フレームが保存されているときは「P.I.F.」と表示されます。P.I.F. フレームの保存方法は『よくなる！カラリオガイド』（PDF マニュアル）をご覧ください。

1. 以下の作業が終了していることを確認します。

- 排紙トレイの引き出し
➔ 「本体」 6 ページ
- 印刷用紙のセット
➔ 「用紙トレイ」 21 ページ

2. メモリーカードをセットします。

➔ 「メモリーカードのセット」 29 ページ

3. ホーム画面で【写真の印刷】 モードを選択します。

【◀ ▶】 ボタンで【写真の印刷】 を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

4. 【いろいろなレイアウトの印刷】 を選択します。

【◀ ▶】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

この後は、画面の指示に従って操作してください。

以上で終了です。

全ての写真をインデックス印刷

メモリーカード内の写真の一覧表を印刷できます。

1. 以下の作業が終了していることを確認します。

- 排紙トレイの引き出し
➔ 「本体」 6 ページ
- 印刷用紙のセット
➔ 「用紙トレイ」 21 ページ

2. メモリーカードをセットします。

➔ 「メモリーカードのセット」 29 ページ

3. ホーム画面で「写真の印刷」モードを選択します。

【◀ ▶】 ボタンで「写真の印刷」を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

4. 「全ての写真をインデックス印刷」を選択します。

【◀ ▶】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

この後は、画面の指示に従って操作してください。

以上で終了です。

オーダーシートを使って印刷

写真を一覧できるオーダーシートを印刷し、マークを付けてスキャンすると、マークした写真だけを印刷できます。

**1. 以下のものを用意します。**

- オーダーシートを印刷する A4 サイズの普通紙
- 写真を印刷する用紙
写真用紙クリスピー<高光沢>
写真用紙<光沢>
写真用紙<絹目調>
写真用紙ライト<薄手光沢>
写真用紙エントリー <光沢>
- 写真の入ったメモリーカード
- HB などの濃い鉛筆

2. A4 サイズの普通紙をセットします。

➔ 「用紙トレイ」 21 ページ

3. 排紙トレイを引き出します。

➔ 「本体」 6 ページ

4. メモリーカードをセットします。

➔ 「メモリーカードのセット」 29 ページ

5. ホーム画面で「写真の印刷」モードを選択します。

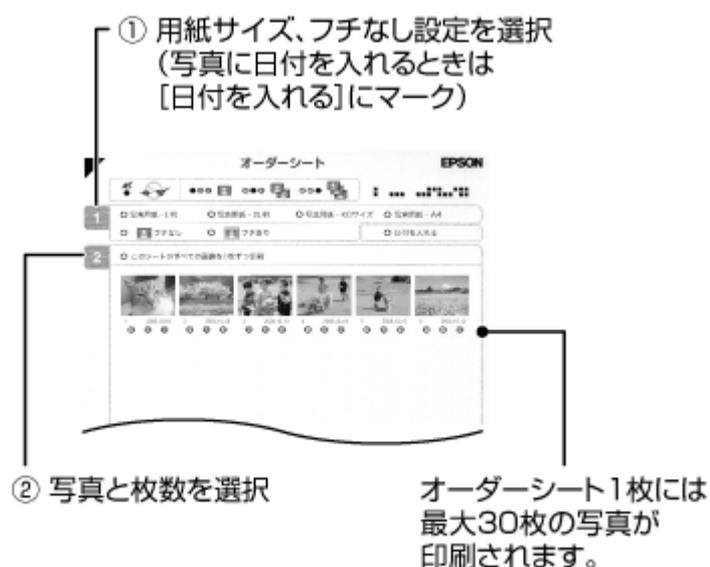
【◀】 【▶】 ボタンで「写真の印刷」を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

6. 「オーダーシートを使って印刷」 - 「オーダーシートを印刷する」の順に選択し、「全ての写真」か「最新の写真 30 枚」かを選択します。

【◀】 【▶】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

7. 【スタート】 ボタンを押して印刷し、オーダーシートに記入します。

HB などの濃い鉛筆でマークしてください。

**8. 「オーダーシートから写真プリント」を選択し、記入したオーダーシートを原稿台にセットします。**

➔ 「原稿のセット」 25 ページ

この後は、画面指示に従って写真を印刷してください。

以上で終了です。

写真コピー

➔ 「写真コピー」 33 ページ

スライドショーを見ながら印刷

メモリーカード内の写真をスライドショーで確認しながら、選択して印刷できます。

1. 以下の作業が終了していることを確認します。

- 排紙トレイの引き出し
→ 「[本体](#)」 6 ページ
- 印刷用紙のセット
→ 「[用紙トレイ](#)」 21 ページ

2. メモリーカードをセットします。

- 「[メモリーカードのセット](#)」 29 ページ

3. ホーム画面で [写真の印刷] モードを選択します。

【◀ ▶】 ボタンで [写真の印刷] を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

4. [スライドショー] を選択します。

【◀ ▶】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定してください。
スライドショーが始まります。

【▲】 か 【▼】 ボタンでスライドショーを停止・再生します。【OK】 ボタンを押すと写真を選んで印刷できます。

以上で終了です。

DPOF 印刷

デジタルカメラで指定した情報（印刷する画像や枚数など）をメモリーカードに記録する「DPOF (Digital Print Order Format) Ver.1.10」の印刷ができます。



参考

DPOF 機能の名称はデジタルカメラによって異なることがあります（「プリント指定」・「プリント予約」など）。

1. デジタルカメラで、DPOF 印刷の指定をします。

以下の印刷タイプで、印刷する写真や枚数などを設定します。詳細はデジタルカメラのマニュアルをご覧ください。

- スタンダードプリント
- インデックスプリント（コマ番号なしの 20 面などのレイアウトでカラー印刷）
- マルチイメージプリント

2. 印刷用紙をセットし、排紙トレイを引き出します。

- 「[用紙トレイ](#)」 21 ページ

3. DPOF 情報の入ったメモリーカードをセットします。

- 「[メモリーカードのセット](#)」 29 ページ

4. 「DPOF のデータがあります。DPOF 印刷しますか？」という画面が表示されたら、【OK】 ボタンを押します。**5.** 印刷設定を確認して、【スタート】 ボタンを押します。

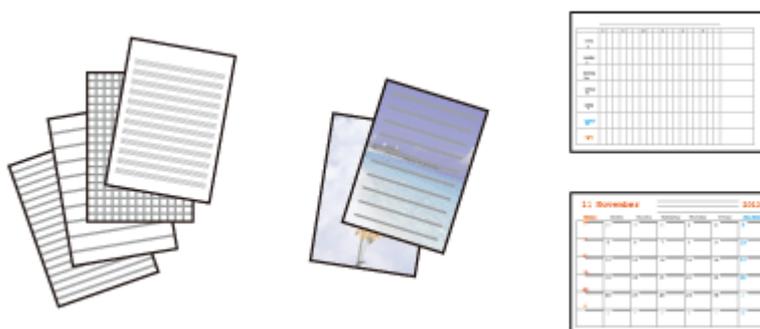
印刷が開始されます。

設定を変更するときは、【▼】 ボタンを押してください。

以上で終了です。

フォームを印刷する

オリジナルの便箋やノート（シート）、スケジュール表などが作成できます。



1. 印刷用紙をセットし、排紙トレイを引き出します。

➔ 「用紙トレイ」 21 ページ

2. ホーム画面で【フォーム印刷】 モードを選択します。

【◀ ▶】 ボタンで【フォーム印刷】 を選択し、【OK】 ボタンで決定してください。

3. 【◀ ▶】 ボタンでフォームの種類を選択し、【OK】 ボタンを押します。

画像入りの便箋を作成する場合は、メモリーカードを先にセットしてから【便箋】 を選択してください。

➔ 「メモリーカードのセット」 29 ページ

4. 【◀ ▶】 ボタンでフォームの詳細を決定し、【OK】 ボタンを押します。

5. 印刷枚数を設定し、【スタート】 ボタンを押します。

スケジュール表は設定内容を確認してから印刷枚数を設定してください。

以上で終了です。

PictBridge（無線 LAN）対応のデジタルカメラから印刷

DPS over IP 規格（以降、PictBridge（無線 LAN））に対応しているデジタルカメラとネットワークプリンターがあれば、ワイヤレスでプリントできます。

デジタルカメラ側の操作手順はメーカーや機種によって異なるため、デジタルカメラのマニュアルをご確認ください。



参考

- 通常はデジタルカメラでの設定が優先されますが、以下の設定時は本製品の設定が反映されます。
 - 「プリンター優先」に設定
 - 「セピア」または「モノクロ」に設定
- 本製品では実現不可能な設定のとき（この場合、実現可能な設定に自動的に調整されます。そのため、この調整結果が本製品側で設定した値と一致するとは限りません。）
- ディスクへの印刷は、本製品側で印刷設定してから、デジタルカメラ側で写真を選択して印刷を開始してください。
- DPOF 設定した写真はデジタルカメラから印刷できます（DPOF 設定でのディスク印刷ができないデジタルカメラもあります）。

1. プリンターのネットワーク接続を確認します。

➔ 「画面の見方と使い方」9 ページ



が表示されているときは、『ネットワークガイド』（電子マニュアル）を参照してプリンターをネットワークに接続してください。

2. 印刷用紙をセットします。

➔ 「印刷用紙のセット」17 ページ

3. ホーム画面で [セットアップ] モード - [外部機器印刷設定] を選択して各項目を設定します。

4. デジタルカメラのネットワーク設定をします。

デジタルカメラをプリンターと同じネットワークに接続してください。

無線 LAN（インフラストラクチャーモード）、有線 LAN などの形態は問いません。

5. デジタルカメラから接続可能なプリンターの一覧を表示させて、接続するプリンターを選択します。

接続するプリンター名は、ホーム画面で [無線 LAN 設定] - [ネットワーク情報印刷] を選択し、ネットワークステータスシートを印刷して確認します。



参考

接続するプリンターを登録できるデジタルカメラでは、この操作を一度行えば次回からはプリンターを選択するだけで接続できます。

6. 印刷する写真をデジタルカメラ側で選択し、印刷枚数などの設定をしてから印刷を開始します。

7. PictBridge（無線 LAN）接続を解除します。

デジタルカメラからプリンターとの接続を解除します。



重要

PictBridge 接続中は、プリンターの別の機能や他の機器からの印刷ができない状態になります。印刷が終了したら、速やかに接続を解除することをお勧めします。

以上で終了です。

困ったときは

詰まった用紙の取り除き方



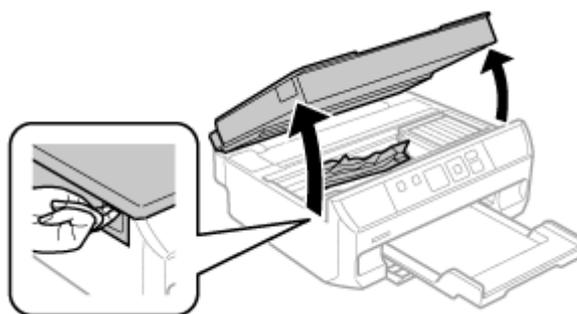
重要

用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。

画面の指示に従い、用紙が詰まっている（紙片がちぎれて残っている）箇所を確認して取り除いてください。電源を切る指示が表示されたら、電源を切ってください。

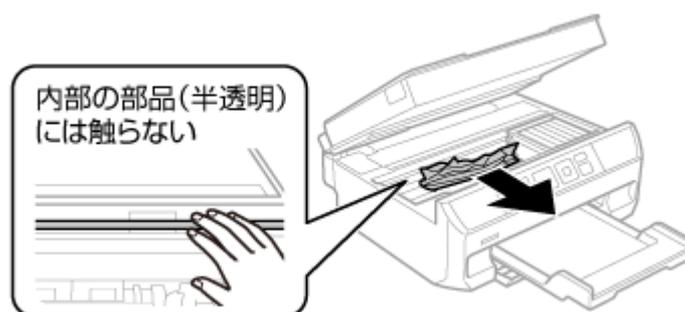
プリンター内部

1. スキャナーユニットを開けます。



2. 詰まった用紙を引き抜きます。

内部の部品（半透明）には触らないでください。

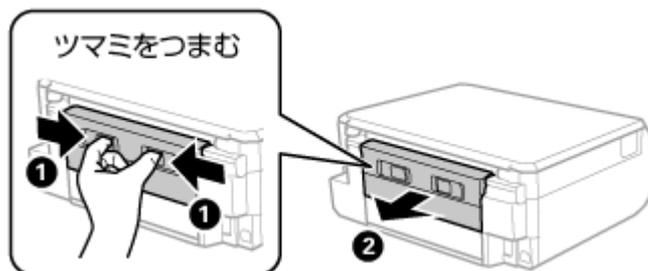


3. スキャナーユニットを閉めます。

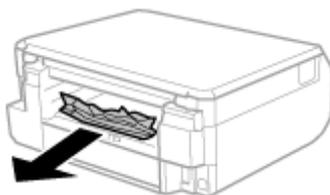
以上で終了です。

プリンター背面部

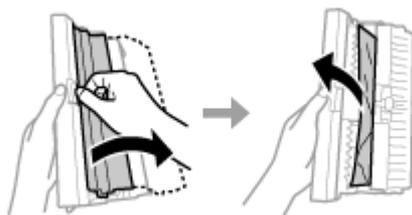
1. 背面ユニットを取り外します。



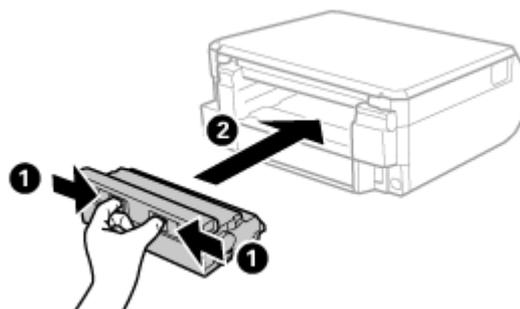
2. 本体側の用紙を取り除きます。



3. 背面ユニット側の用紙を取り除きます。



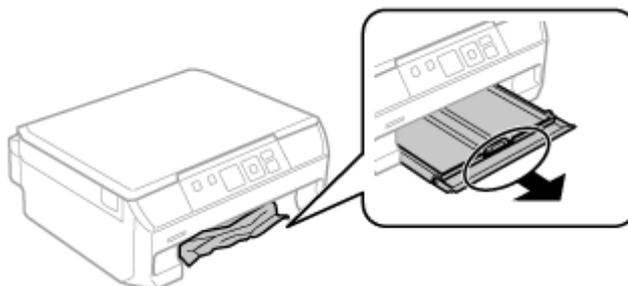
4. 背面ユニットを閉じてから本体に取り付けます。



以上で終了です。

用紙トレイ部

1. 用紙トレイを全て引き抜いて、用紙を取り除きます。

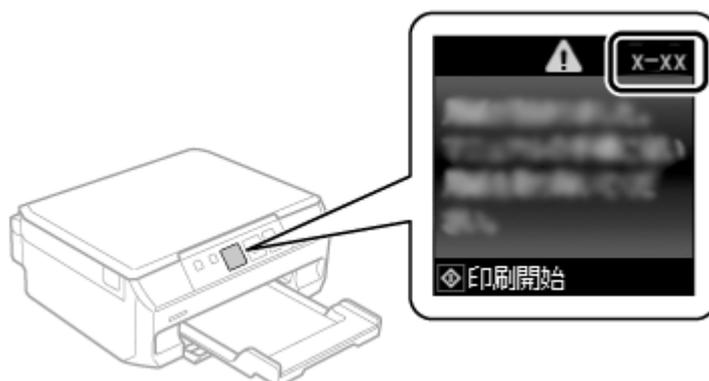


2. 用紙トレイをセットします。

以上で終了です。

画面にコードが表示された

エラーが発生すると、液晶ディスプレイにエラーコード（右上）とメッセージが表示されます。



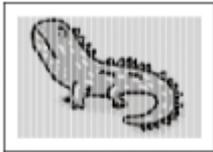
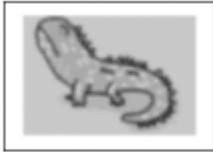
コード	対処方法
E-01	プリンターエラーが発生しました。電源を切って、本製品内部に異物（輸送用の保護材、用紙など）が入っていないか確認してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、エラーコードを控えてから、カラリオインフォメーションセンターにご連絡ください。 ➔ 「お問い合わせ先」 79 ページ
E-02	スキャナーエラーが発生しました。電源を入れ直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、エラーコードを控えてから、カラリオインフォメーションセンターにご連絡ください。 ➔ 「お問い合わせ先」 79 ページ
E-11	廃インク吸収パッド※の交換が必要です。お客様による交換はできません。エプソンの修理窓口に交換を依頼してください。
W-01	用紙トレイに用紙が詰まりました。用紙を取り除いてから【スタート】ボタンを押してください。 ➔ 「用紙トレイ部」 51 ページ

コード	対処方法
W-02	プリンター内部に用紙が詰まりました。用紙を取り除いてから【スタート】ボタンを押してください。 ➔ 「プリンター内部」49 ページ
W-03	プリンター背面に用紙が詰まりました。用紙を取り除いてから【スタート】ボタンを押してください。 ➔ 「プリンター背面部」50 ページ
W-11	廃インク吸収パッド※の交換時期が近付きました。お客様による交換はできません。エプソンの修理窓口に交換を依頼してください。このメッセージは、交換するまで定期的に表示されます。【スタート】ボタンを押すと印刷が続けられます。
W-12	インクカートリッジが正しくセットされていません。[押] の部分をゆっくり押してください。正しく挿入されると「カチッ」と音がします。 ➔ 「インクカートリッジの交換」57 ページ
W-13	本製品では使用できないインクカートリッジがセットされています。本製品で使用できるインクカートリッジをセットしてください。 ➔ 「インクカートリッジ型番」68 ページ ➔ 「インクカートリッジの交換」57 ページ
I-01	ディスクトレイをセットしてください。 ➔ 「ディスクのセット」24 ページ
I-22	[プッシュボタン自動設定] で無線 LAN を設定します。アクセスポイントのプッシュボタンを押してください。ボタンがないときは、アクセスポイントの設定画面を開いて、ソフトウェアプッシュボタンを押してください。
I-23	[PIN コード自動設定] で無線 LAN を設定します。アクセスポイントかパソコンに、液晶ディスプレイに表示された PIN コードを 2 分以内に入力してください。
I-31	[カンタン自動設定] で無線 LAN を設定します。パソコンにソフトウェアをインストールし、無線設定が開始されたら【OK】ボタンを押してください。
I-71	[A4 (B5) 原稿に 2 アップ] [A4 (B5) Book2 アップ] 時の原稿を原稿台にセットしてください。 ➔ 「原稿のセット」25 ページ
I-72	原稿台にディスクまたは写真原稿をセットしてください。 ➔ 「原稿のセット」25 ページ
I-73	原稿台に原稿（写真）をセットしてください。 ➔ 「原稿のセット」25 ページ
I-74	記入済みの手書き合成シートを原稿台にセットしてください。
I-75	➔ 「原稿のセット」25 ページ
I-76	記入済みのオーダーシートを原稿台にセットしてください。 ➔ 「原稿のセット」25 ページ
(表示) Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 ① パソコンとプリンターを USB 接続します（リカバリーモード中のアップデート作業は、ネットワーク接続ではできません）。 ② エプソンのホームページから最新版のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

※クリーニング時や交換時に排出される廃インクを吸収する部品です。吸収量が限界に達する時期は使用状況によって異なります。限界に達すると、パッドを交換するまで印刷できません（インクあふれ防止のため）。保証期間経過後の交換は有償です。

さまざまなトラブル

印刷品質

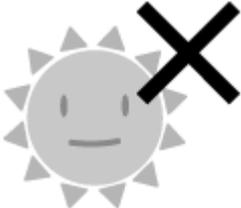
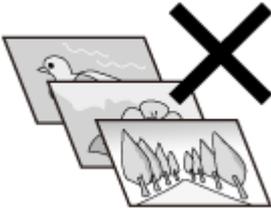
症状・トラブル状態	対処方法
かすれる スジや線が入る 色合いがおかしい・色が薄い 印刷されない色がある 	<ul style="list-style-type: none"> ノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドの状態を確認してください。 ➔ 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 62 ページ インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）を使用することをお勧めします。 古くなったインクカートリッジは使用しないことをお勧めします。 ➔ 「インクカートリッジの交換」 57 ページ プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。 [セットアップ] モードの [ギャップ調整] を行ってください。 ➔ 「セットアップモード」 14 ページ 上記の調整をしても改善されない場合は、プリンタードライバーからのギャップ調整を行ってください。 ➔ 『ユーザズガイド』 - 「メンテナンス」 - 「印刷のずれ（ギャップ）調整」 写真などは、普通紙ではなくエプソン製専用紙に印刷することをお勧めします。 エプソン製専用紙には表裏があります。印刷した面がおもて面か確認してください。 ➔ 「印刷できる用紙と設定」 17 ページ 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバム・クリアファイル・ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。 印刷後の用紙を乾かすときには、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 ➔ 「印刷後の品質を保つために」 55 ページ セットした用紙の種類と、印刷設定の [用紙種類] を合わせてください。 ➔ 「[用紙種類] の設定」 18 ページ 印刷品質（きれい）での印刷をお試ください。普通紙で印刷するときに [印刷品質] を [標準] に設定すると、スジが見えることがあります。 解像度の高い（画素数の多い）データを印刷してください。携帯電話や解像度の低いカメラで撮影した写真は、画質が粗いため、小さい用紙に印刷することをお勧めします。
印刷にムラがある モザイクがかかったように印刷される 	<ul style="list-style-type: none"> 印刷濃度を調整してみてください。 「ディスクレーベルにコピー」では [コピー濃度] で、「ディスクレーベルに印刷」では [ディスクレーベル濃度調整] で調整できます。
インクが出ない（白紙で印刷される） 約 2.5cm 間隔でスジが入る 文字や罫線がガタガタになる	<ul style="list-style-type: none"> 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 ➔ 「内部のクリーニング」 64 ページ 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けしないでください。 原稿の紙が薄いときは、裏側に黒い紙や下敷きを重ねてコピーしてください。
レーベルへの印刷が濃い・薄い コピーでムラ・シミ・斑点が出る 裏写りする	<ul style="list-style-type: none"> 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 ➔ 「内部のクリーニング」 64 ページ 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けしないでください。 原稿の紙が薄いときは、裏側に黒い紙や下敷きを重ねてコピーしてください。

症状・トラブル状態	対処方法
用紙が汚れる	<ul style="list-style-type: none"> • コピー濃度を下げてください。 ➔ 「基本コピー」 32 ページ • 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。汚れているときは、柔らかい布でふき取ってください。 • 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 ➔ 「内部のクリーニング」 64 ページ • 両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。ハガキに印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。 • 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ➔ 「印刷できる用紙と設定」 17 ページ • 用紙は正しい方向にセットしてください。 ➔ 「用紙トレイ」 21 ページ • 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバム・クリアファイル・ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。印刷後の用紙を乾かすときには、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 ➔ 「印刷後の品質を保つために」 55 ページ • フチなし設定をしたときは、以下の用紙を使用することをお勧めします。写真用紙・フォト光沢紙・フォトマット紙・各種郵便ハガキ・各種エプソン製専用ハガキ • こすれ軽減機能を使ってみてください。 ➔ 「セットアップモード」 14 ページ
フチなし印刷ができない	<ul style="list-style-type: none"> • フチなしの設定にしてください。 ➔ 「メニュー一覧」 9 ページ • フチなし印刷に対応した用紙をお使いください。写真用紙・フォト光沢紙・フォトマット紙・各種郵便ハガキ・各種エプソン製専用ハガキ
ハガキに縦長の写真を印刷すると、宛名面と上下が逆になってしまう	<p>ハガキのセット向きを上下逆にしてください。</p> <p>縦長写真のデータは、撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって、写真の上下（天地）が異なります。</p>
印刷がずれる・はみ出す	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙ガイドを用紙の側面に合わせてください。 ➔ 「用紙トレイ」 21 ページ • 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。コピー時はゴミや汚れの範囲までコピーされ、印刷位置が大きくずれることがあります。 • 原稿を正しくセットしてください。 ➔ 「原稿のセット」 25 ページ • ミニフォトシールやディスクレーベルで印刷位置がずれたら、印刷位置を調整してください。 ➔ 「セットアップモード」 14 ページ • セットした用紙のサイズと、印刷設定の [用紙サイズ] を合わせてください。 ➔ 「印刷できる用紙と設定」 17 ページ • フチなし印刷で写真の周囲が欠けるときは、フチなしはみ出し量を変更してください。 ➔ 「メニュー一覧」 9 ページ
コピーすると画像が小さくなる	<p>原稿台のガラス面が汚れている可能性があります。柔らかい布でガラス面をふいてください。</p>

印刷後の品質を保つために

十分に乾燥させる

印刷後の用紙は、以下の点に注意して十分に乾燥させてください。よく乾燥させずに保存すると、にじみが発生することがあります。

		
直射日光に当てない	印刷面を重ねない	ドライヤーなどで乾かさない

光や空気を遮断して保存する

印刷物は光や空気を遮断することで、退色を抑えることができます。乾燥後は以下の点に注意して、速やかにアルバムやクリアファイル、ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。

	
屋外に展示しない	濡らさない

電源・操作パネル

症状・トラブル状態	対処方法
電源が入らない 電源ランプが点滅・点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 【電源】 ボタンを少し長めに押してください。 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	【電源】 ボタンを少し長めに押してください。それでも電源が切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、プリントヘッドの乾燥を防ぐため、電源を入れ直して【電源】 ボタンを押して電源を切ってください。
液晶ディスプレイが暗くなった	液晶ディスプレイがスリープモードになっています。いずれかのボタンを押すと、操作画面が表示されます。

画面に表示されたメッセージの内容がわからないときは、以下のページをご覧ください。

➔ [「画面にコードが表示された」 51 ページ](#)

給紙・排紙

症状・トラブル状態	対処方法
用紙が詰まった	無理やり引き抜かないでください。以下のページの手順に従って取り除いてください。 ➔ 「詰まった用紙の取り除き方」 49 ページ
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙が給紙されない 用紙が排出されてしまう	<ul style="list-style-type: none"> 用紙を正しくセットしてください。特に、用紙のセット時には必ず用紙ガイドを合わせてください。 ➔ 「用紙トレイ」 21 ページ うまく給紙できないときは、1枚ずつセットしてください。 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ➔ 「印刷できる用紙と設定」 17 ページ 水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかを確認してください。 ➔ 「総合仕様」 66 ページ 製品内部のローラーが汚れている可能性があります。 ➔ 「内部のクリーニング」 64 ページ 印刷処理が一定の時間中断された可能性があります。印刷処理が一定の時間中断されると、印刷中の用紙が排出されます。

その他

症状・トラブル状態	対処方法
ヘッドクリーニングが動作しない	十分なインク残量がないとヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 ➔ 「インクカートリッジの交換」 57 ページ
約10分以上連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いたため、速度を下げている状態です（印刷は継続できます）。 印刷を中断し、電源を入れたまま 30 分以上放置した後は通常で印刷します（電源を切って放置しても印刷速度は回復しません）。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	パソコンに多数の周辺機器を接続していると、プリンターに触れたときに電気を感じる場合があります。プリンターを接続しているパソコンからアース（接地）を取ってください。
パソコン接続していてトラブルが発生した	パソコン接続時のトラブル対処方法は以下をご覧ください。 ➔ 『ユーザーズガイド』 - 「トラブル解決」
ネットワーク接続していてトラブルが発生した	ネットワーク接続時のトラブル対処方法は以下をご覧ください。 ➔ 『ネットワークガイド』 - 「トラブル解決」 - 「その他のトラブル」 - 「ネットワーク印刷時のトラブル」
写真選択画面で「？」が表示される	非対応の画像は「？」で表示されます。 ➔ 「対応画像ファイル」 67 ページ

メンテナンス

インクカートリッジの交換

交換するインクカートリッジを用意してください。

➔ [「インクカートリッジ型番」 68 ページ](#)



重要

- 交換前に、以下の注意事項をご確認ください。
 - ➔ [「取り扱い上のご注意」 60 ページ](#)
- 交換は速やかに行い、カートリッジを取り外した状態で放置しないでください。

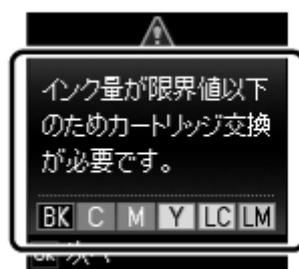


参考

- インクの残量は、ホーム画面の [セットアップ] - [インク残量表示] で確認できます。
 - ➔ [「セットアップモード」 14 ページ](#)
- エラーが表示されたときは、メッセージに従ってください。
- コピー中の交換作業では、原稿の位置がずれる可能性があります。【ストップ】 ボタンを押してコピーを中止後、残りのコピーを原稿のセットからやり直してください。
- インクカートリッジの交換は以下の手順でもできます。
 - ホーム画面の [セットアップ] モード - [プリンターのお手入れ] - [インクカートリッジ交換] を選択してください。

インク交換メッセージが表示されたら、以下の手順で交換します。

1. ディスクトレイがセットされていたら取り出してください。
2. パネル下部に表示された、交換が必要な色を確認して **【OK】** ボタンを押します。



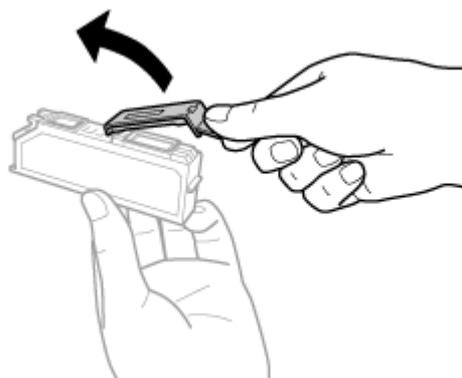
3. **【すぐに交換する】** を選択して、**【OK】** ボタンを押します。



参考

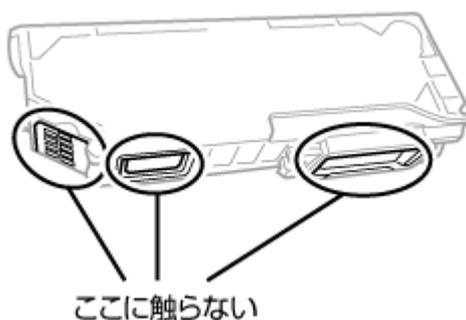
- パソコン接続で使用中にカラーインク残量が限界値を下回ったときは、一時的に、ブラックインクのみ使用して印刷できます。
- ➔ 『ユーザーズガイド』 - 「インクカートリッジの交換」

4. 新しいインクカートリッジを袋から出して、キャップを取り外します。



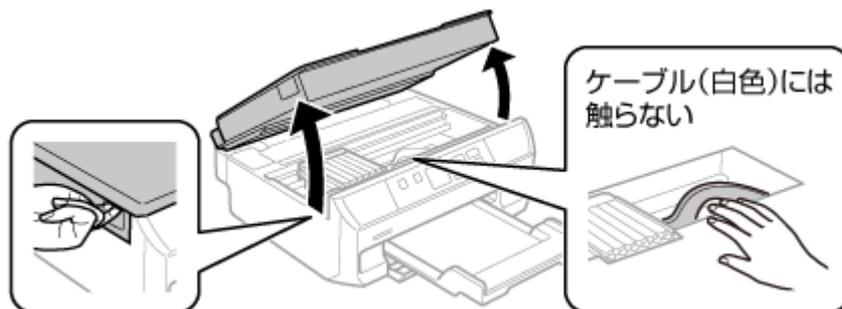
重要

カートリッジの下図の部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

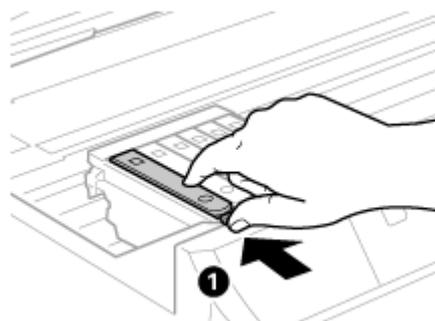


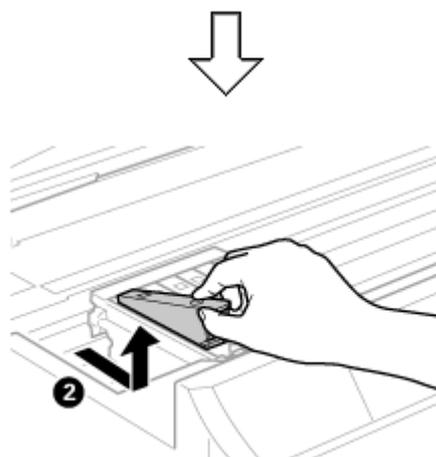
5. 原稿カバーが閉じた状態でスキャナーユニットを開けます。

内部のケーブル（白色）には触らないでください。



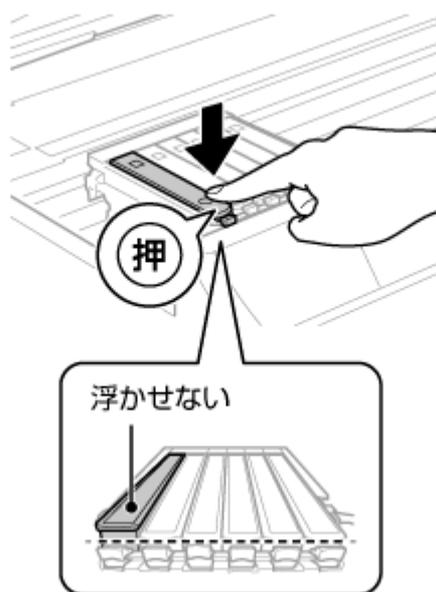
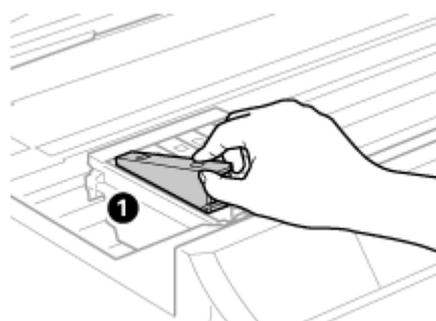
6. ツメを押してインクカートリッジを外し、斜めに引き上げて取り出します。





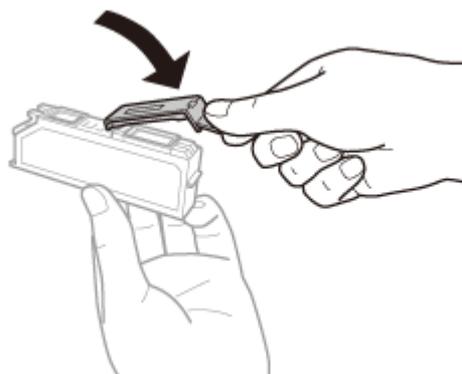
7. 新しいインクカートリッジを図のように斜めに挿入し、[押] の部分をゆっくり押します。

正しく挿入されると「カチッ」と音がします。

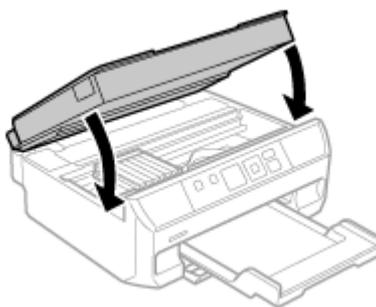


重要

取り外したインクカートリッジは、インク汚れや乾燥を防ぐために、インク供給孔部にキャップを取り付けて保管・廃棄してください。



8. スキャナーユニットを閉じます。



9. 画面の指示に従って操作してください。



重要

電源ランプが点滅しているときはインク充填中のため、電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。

以上で終了です。

取り扱い上のご注意

- カートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は6か月以内に使い切ってください。
- カートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- カートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。
- カートリッジのICチップなどには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
➔ [「インクカートリッジの交換」57ページ](#)
- カートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 電源を切った状態でカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- カートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、カートリッジ交換中に電源を切ったりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。

- カートリッジセット部に異物を入れたり落としたりしないでください。印刷できなくなるおそれがあります。落としてしまったときは、セット部に傷をつけないように取り除いてください。
- カートリッジは IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 取り外したカートリッジは、インク汚れや乾燥を防ぐために、インク供給孔部にキャップを取り付けて保管・廃棄してください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- カートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- カートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

インクの消費

- プrintヘッドを良好な状態に保つため、印刷以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

純正インクカートリッジのお勧め

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正インクカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。

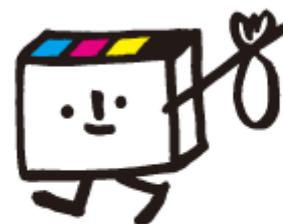
回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

➔ <http://www.epson.jp/recycle/>



学校に持っていこう！

インクカートリッジ



里帰リプロジェクト

郵便局に持っていこう！

インクカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

印刷結果にスジが入ったり、おかしい色味で印刷されたりするときは、ノズル（インクの吐出孔）の状態を確認してください。また写真を印刷する前にも、ノズルチェックをすることをお勧めします。



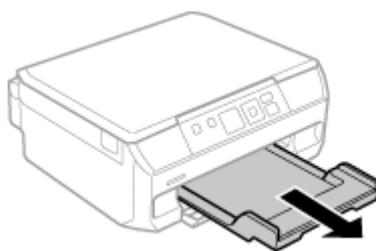
重要

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に2回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、電源を切って6時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口に修理をご依頼ください。
 - ➔ [「お問い合わせ先」 79 ページ](#)
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源の入/切は必ず【電源】ボタンで行ってください。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。

1. A4 サイズの普通紙をセットします。

➔ [「用紙トレイ」 21 ページ](#)

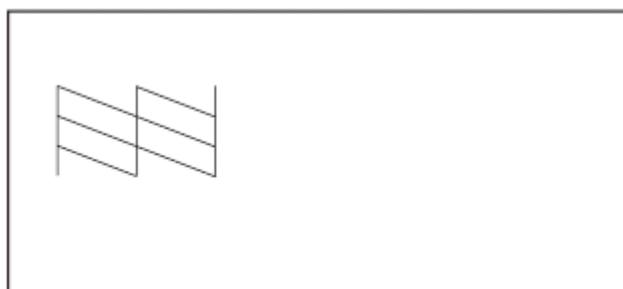
2. 排紙トレイを引き出します。



3. ホーム画面で【セットアップ】モードを選択して、【プリンターのお手入れ】 - 【ノズルチェック】の順に選択します。

画面の説明に従ってノズルチェックパターンを印刷してください。

4. ノズルチェックパターンを確認します。



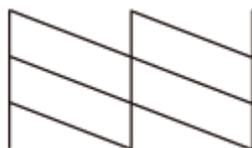
ノズルチェックパターンは明るい場所で確認してください。電球色の蛍光灯などの下で確認すると、ノズルチェックパターンが正しく確認できないことがあります。

- 印刷されない線がある



ノズルが目詰まりしています。手順 5 に進んでください。

- 全ての線が印刷されている



ノズルは目詰まりしていないため、ヘッドクリーニングは不要です。【いいえ】を選択して【OK】ボタンを押し、作業を終了してください。

他の原因が考えられます。以下を参照して対処してください。

➡ [「印刷品質」53 ページ](#)

5. 【はい】を選択して【OK】ボタンを押します。

画面の説明に従ってヘッドクリーニングを実行してください。

**重要**

ヘッドクリーニング中は電源を切らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

6. ヘッドクリーニングが終わったら、**【ノズルチェック実行】**を選択し、再度ノズルチェックパターンを印刷して確認します。

ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

以上で終了です。

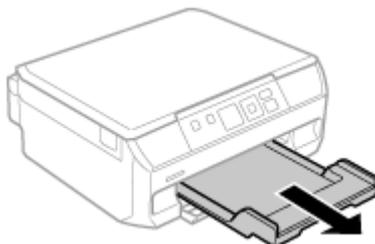
内部のクリーニング

印刷物に汚れやこすれがあるときや、用紙が正しく給紙されないときは、製品内部（ローラー）をクリーニングしてください。用紙に同梱されているクリーニングシートは使用できません。

**重要**

製品内部は、布やティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くすなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

1. **A4 サイズの普通紙（コピー用紙など）**を用紙トレイにセットします。
2. 排紙トレイを引き出します。



3. 原稿台に原稿をセットしないでコピーを実行します。

用紙にインクの汚れが付かなくなるまで繰り返します。

以上で終了です。

輸送の仕方

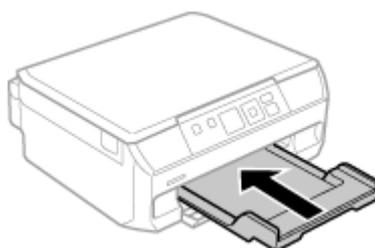
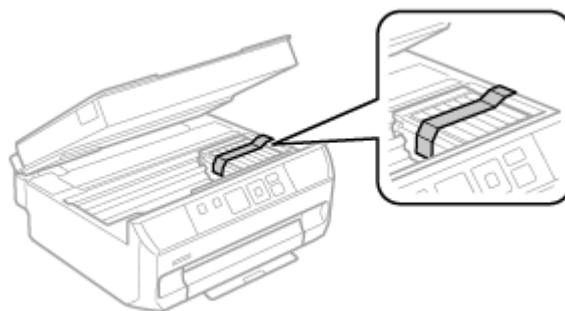
輸送の前に以下の作業を行ってください。

1. **【電源】** ボタンを押して、電源を切ります。

プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。

**重要**

- インクカートリッジは取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プrintヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず固定できません。電源を入れ直し、必ず【電源】ボタンを押して電源を切ってください。

2. 排紙トレイを元の位置に戻します。**3. 用紙や原稿などがセットされていないことを確認します。****4. ケーブル類を取り外します。****5. インクカートリッジセット部が動かないように、市販のテープなどでしっかり固定します。****6. 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。**

以上で終了です。

**重要**

保護材の取り付けや輸送時は、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で取り扱ってください。

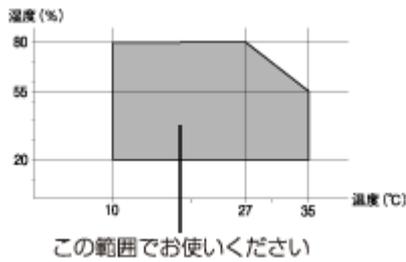
**参考**

- インクカートリッジセット部を固定したテープは輸送後直ちに剥がしてください。テープの種類によっては、長時間貼り付けたままにしておくと糊が剥がれにくくなる場合があります。
- 輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。
➔ [「ノズルチェックとヘッドクリーニング」62 ページ](#)

製品仕様とご注意

製品仕様とご注意

総合仕様

ノズル配列	黒インク	180 ノズル
	カラーインク	180 ノズル × 5 色
インク色		ブラック、シアン・マゼンタ・イエロー・ライトシアン・ライトマゼンタ
最高解像度		5760×1440dpi (最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷)
最小ドットサイズ		1.5pl (ピコリットル)
インターフェイス		Hi-Speed USB (PC 接続用) IEEE802.11b/g/n
定格電圧		AC100V
定格周波数		50 ~ 60Hz
定格電流		0.7A
消費電力	コピー時 (ISO/IEC24712 印刷パターンコピー)	約 17W
	スリープモード時	約 1.0W
	電源オフ時	約 0.2W
外形寸法	収納時	幅 390× 奥行 338× 高さ 163mm
	使用時	幅 390× 奥行 504× 高さ 163mm
質量 (インクカートリッジ・電源コード・ディスクトレイ含まず)		約 5.9kg
動作時の環境	温度	10 ~ 35 °C
	湿度	20 ~ 80% (非結露)
 <p>この範囲でお使いください</p>		
保管時の環境	温度	-20 ~ 40 °C
	湿度	5 ~ 85% (非結露)
省資源機能		両面印刷機能・割り付け印刷機能・縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。

対応 OS ※ 1	Windows XP (SP1 以降) ・ Windows XP Professional x64 Edition ・ Windows Vista ※ 2 ・ Windows 7 ※ 2 ・ Windows 8 ※ 2 Mac OS X v10.5.8 ・ Mac OS X v10.6.x ・ Mac OS X v10.7.x ・ Mac OS X v10.8.x
-----------	--

※ 1 最新の OS 対応状況はエプソンのホームページをご覧ください。

➔ <http://www.epson.jp/support/taiou/os>

※ 2 32 ビット版 ・ 64 ビット版に対応。

スキャナー部

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
センサー	CIS
出力解像度	主走査：1200dpi 副走査：2400dpi
最大原稿サイズ	A4 ・ US レターサイズ 216×297mm
階調	RGB 各色 16bit 入力 1bit ・ 8bit 出力

カードスロット対応電圧

3.3V 専用 ・ 3.3V/5V 兼用（供給電圧は 3.3V）

- 5V タイプのメモリーカードは非対応
- 最大供給電流は 200mA

対応画像ファイル

デジタルカメラ	DCF ※ 1 Version 2.0 ※ 2 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF ※ 1 Version 1.0 または 2.0 ※ 2 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG ※ 3 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横：80 ～ 10200 ピクセル 縦：80 ～ 10200 ピクセル
最大ファイル数	9990 個 ※ 4

※ 1 DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。

※ 2 内蔵メモリーに保存されている画像には対応していません。

※ 3 Exif Version 2.3 準拠。

※ 4 一度に表示できるファイル数は 999 個（999 個を超えるとグループ単位で表示）。

本製品で認識できない画像ファイルは液晶ディスプレイ上に「?」マークで表示されます。また、複数面レイアウト（自動配置）やインデックス印刷などでは、空白で印刷されます。

インクカートリッジ型番



画面の表示	色	型番	増量型番	備考
BK	ブラック	ICBK70	ICBK70L	70番と70L番は混在して使用できます。
C	シアン	ICC70	ICC70L	
LC	ライトシアン	ICLC70	ICLC70L	
M	マゼンタ	ICM70	ICM70L	
LM	ライトマゼンタ	ICLM70	ICLM70L	
Y	イエロー	ICY70	ICY70L	
-	6色パック	IC6CL70	IC6CL70L	

- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。
- カタログなどで公表されている印刷コストは、JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）のガイドラインに基づき、2回目以降のカートリッジで算出しています。

無線 LAN 仕様

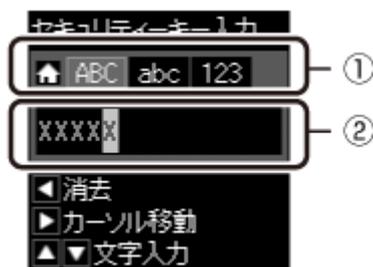
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
無線規格	ARIB STD-T66・RCR STD-33
周波数範囲	2.400～2.4835 GHz（1～13ch） 2.471～2.497 GHz（14ch）
チャンネル	IEEE 802.11b：1～14ch IEEE 802.11g：1～13ch IEEE 802.11n：1～13ch ※1
伝送方式	DS-SS（IEEE 802.11b） OFDM（IEEE 802.11g/n）

通信速度	IEEE 802.11b : 1 ~ 11Mbps モード IEEE 802.11g : 6 ~ 54Mbps モード IEEE 802.11n HT20 : 6.5 ~ 72.2Mbps モード
通信モード	インフラストラクチャー・アドホック※ 2・Wi-Fi Direct ※ 3
セキュリティ	WEP (64/128bit)・WPA-PSK (TKIP/AES) ※ 4

- ※ 1 20MHz 帯域幅 (HT20) のみ
- ※ 2 IEEE802.11n には非対応
- ※ 3 IEEE802.11b、IEEE802.11n には非対応
- ※ 4 WPA2 規格に準拠し、WPA・WPA2 Personal 規格に対応。

通信速度は、規格上の通信速度表記であり、理論上の最大通信速度や実際の通信可能速度を示すものではありません。実際の通信速度は、環境により異なります。

文字入力



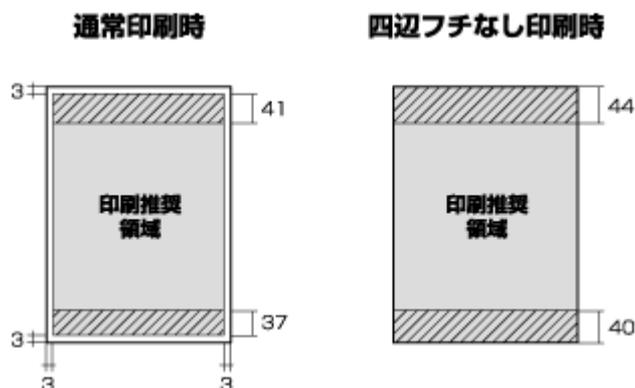
- ① 文字種
- ② 文字入力部

ボタン	機能
▶ ボタン	カーソルの移動
▲ ▼ ボタン	入力文字の選択
◀ ボタン	文字削除 (押すたびに左側に向かって 1 文字ずつ削除)
【ホーム】 ボタン	文字種切り替え (押すたびに大文字→小文字→数字・記号の順で切り替わり)
【OK】 ボタン	入力の確定
【ストップ】 ボタン	1 つ前の画面に戻る

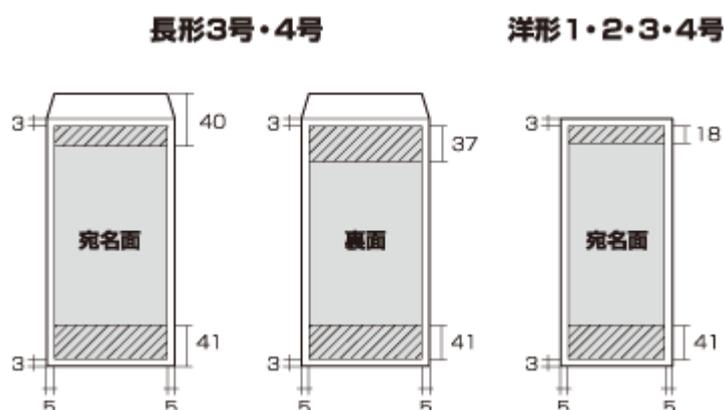
印刷領域 (単位 mm)

本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

定形紙



封筒



規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人 電子情報技術産業協会 (社団法人 日本電子工業振興協会) のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

(関連法律) 刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条 など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

商標

- Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- SDXC Logo is a trademark of SD-3C,LLC.
- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- EPSON ステータスモニターはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- EPSON PRINT Image Matching、PRINT Image Framer は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- 本文中で用いる P.I.F. は PRINT Image Framer の略称です。
- AOSS (TM) は株式会社バッファローの商標です。
- PictBridge は商標です。

- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。



本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。



注意事項

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

メモリーカード

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリーカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

譲渡と廃棄

メモリーカードを譲渡・廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリーカードを物理的に破壊することをお勧めします。

液晶ディスプレイ

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

ディスクへの印刷

印刷前

- データ記録後にディスク印刷をしてください。データ記録前に印刷すると、ゴミや汚れ、傷などによって、記録時に書き込みエラーになるおそれがあります。
- ディスクの種類や印刷データによっては、にじみが発生します。不要なディスクで試し印刷を行って印刷品質を確認してください。色合いは、24 時間以上経過した後の状態で確認します。
- ディスク印刷の初期設定は、印刷品質確保のため、エプソン製専用紙より低い濃度で印刷するようになっています。

印刷後

- 24 時間以上乾燥させてください。また、印刷面が乾燥するまで、重ねたり、機器にセットしたりしないでください。
- 印刷面がべたついて乾燥しないときは、印刷濃度を下げて印刷してください。
- 印刷位置がずれてディスクの内側の透明部分やディスクトレイ上に印刷されたときは、すぐに拭き取ってください。
- 印刷後、ディスクトレイを必ず抜いておいてください。プリンターに差した状態で、電源の入・切や、プリントヘッドのクリーニングなどをすると、プリントヘッドとトレイ先端が接触して故障するおそれがあります。
- 直射日光を避けて乾燥させてください。
- 一度印刷した面に再印刷しても、きれいに仕上がりにません。

電波

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名： WLU6117-D69(RoHS)
- 認証番号： 003WWA110893
003GZA110894

周波数

本製品は、2.4GHz 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業・科学・医学用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本機の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページ（<http://www.wi-fi.org>）をご参照ください。



この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

セキュリティ

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品の日本国外への持ち出し

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

プリンター本体の廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

④ 印刷データ	<input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 文章 <input type="checkbox"/> その他 ()
⑤ エラー表示	<input type="checkbox"/> 液晶ディスプレイ <input type="checkbox"/> パソコン画面 メッセージ内容：
⑥ 用紙の種類	<input type="checkbox"/> 普通紙 <input type="checkbox"/> 写真用紙 <input type="checkbox"/> ハガキ <input type="checkbox"/> その他 ()
⑦ 用紙のサイズ	<input type="checkbox"/> A4 <input type="checkbox"/> ハガキ <input type="checkbox"/> L判 <input type="checkbox"/> その他 ()

保証書

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。

これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品と消耗品の保有期間

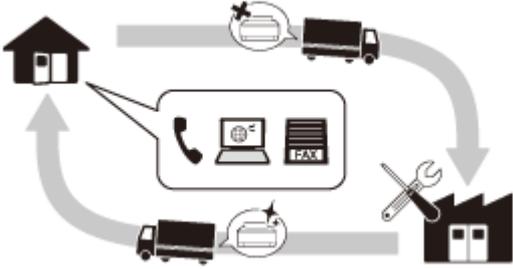
本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。

故障の状況によっては弊社の判断により、製品本体を、同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。なお、同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなる場合があります。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの種類と受付窓口

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

引取修理サービス (ドア to ドアサービス)	 <p>ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。修理完了品を最短で3日後にお届けします。 修理費用とは別にサービス料金 1,575 円 / 台 (税込み、保証期間内外とも一律) が必要です。</p>
送付修理サービス (デリバリーサービス)	<p>お客様により修理品を梱包・送付していただきます。修理完了品を最短で3日後にお届けします。</p>
持込修理サービス (クイックサービス)	<p>修理品を修理窓口に直接お持ち込みいただき、その場で修理いたします。所要時間の目安は1～2時間です。</p>

保守サービスの詳細は、次のいずれかでご確認ください。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソン修理センター
 ➔ [「お問い合わせ先」79 ページ](#)
- エプソンのホームページ
 ➔ <http://www.epson.jp/support/>



重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。
 これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

エプソンなら購入後も安心。皆様からの問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】 **050-3155-8022**

【受付時間】 月～金曜日9:00～18:00 土日祝日10:00～17:00(1月1日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5251へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通商社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/support/>

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070
 ・鳥取修理センター:0857-77-2202 ・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様の希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

【電話番号】 **050-3155-7150**

【受付時間】 月～金曜日9:00～17:30 (祝日、弊社指定休日は除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/support/>

*平日の17:30～20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代行いたします。

*年末年始(12/30～1/3)の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソン プラス・ワンサービス

"電話だけではわかりにくい" "もっと深く知りたい" などのご要望にお応えする有料サービスです。

○遠隔サポートサービス

インターネットを介してお客様のパソコン画面をオペレーターのパソコンに表示し、画面共有しながら操作・設定方法などをアドバイスさせていただきます。*有料サービスです。

*サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/es/>

【電話番号】050-3155-8888

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～18:00 土曜日・日曜日・祝日 10:00～17:00 (1月1日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2788へお問い合わせください。

○おうちプリント訪問サービス

2つのメニューをご用意。ご自宅にお伺いする有料サービスです。

・おたすけサービス:カラリオ製品の本体設置や、無線LANの接続・設置などを行います。

・ホームレッスン:カラリオ製品の使い方、パソコンから写真印刷する方法などのレッスンをを行います。

*サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/support/houman/>

【電話番号】050-3155-8666

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2944へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。

●講習会のご案内

詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/school/>

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。(2013年4月現在)

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

最新の情報はエプソンのホームページ(<http://www.epson.jp/>)にてご確認ください。

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

コンシューマ(SPC) 2013.04